

鳥取環境大学のあり方に関するアンケート調査結果(速報)

区 分	回答数	配布数	回答率
高校2年生	1,435	1,705	84.2%
保護者	965	1,705	56.6%
高校教員	1,131	1,455	77.7%
県内企業	326	620	52.6%
一般県民	403		
計	4,260	5,485	

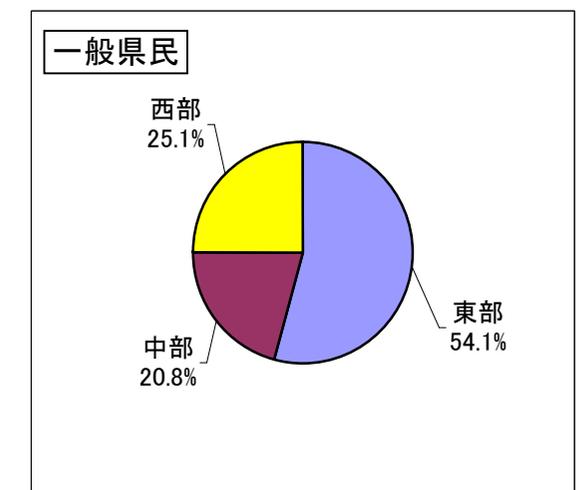
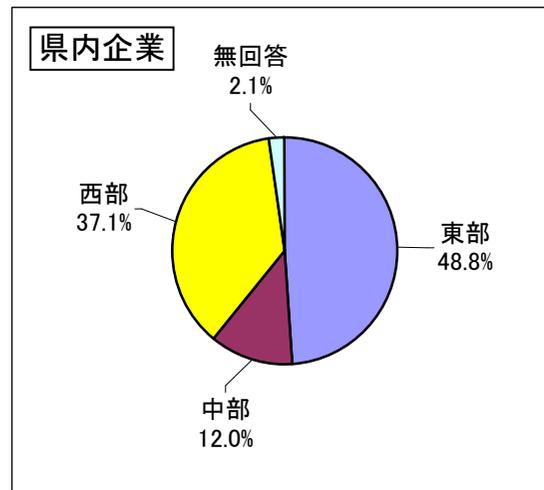
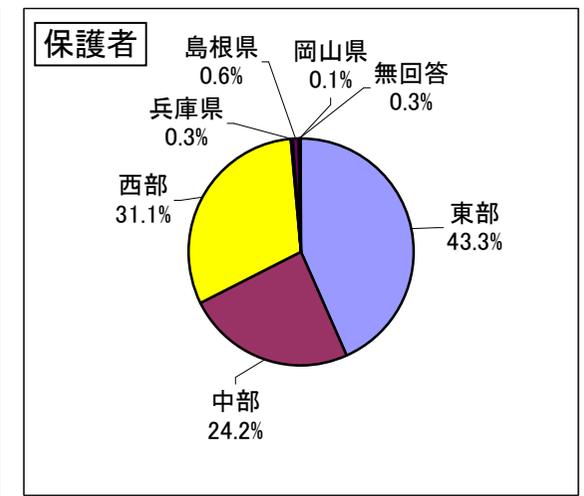
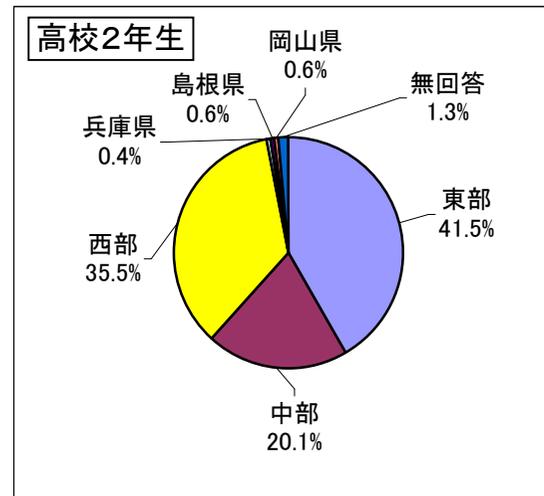
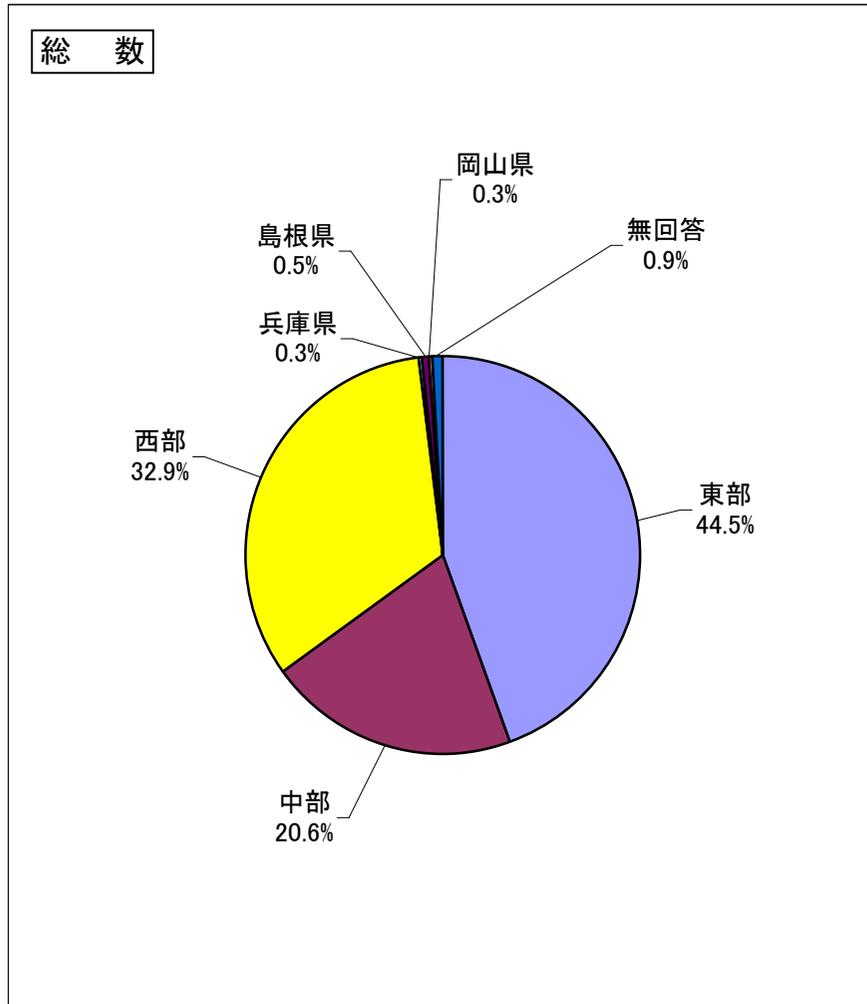
平成 22 年 8 月 5 日

鳥取環境大学改革案評価・検討委員会事務局

■アンケート項目一覧■

- 1 回答者の居住地域
- 2 アンケート回答者の性別
- 3 アンケート回答教員の職位
- 4 アンケート回答教員勤務校の設置形態
- 5 アンケート回答企業の業種
- 6 アンケート回答企業の規模
- 7 卒業後の進路
- 8 高校教員が属している学校の進路傾向
- 9 志望校の種別
- 10 志望校の設置形態
- 11 志望校選択の要素
- 12 自宅通学可否の重要性
- 13 環境大学の認知度
- 14 進学先候補としての意識
- 15 進学先候補となる理由
- 16 進学先候補とならない理由
- 17 環境政策経営学科、環境マネジメント学科の学費
- 18 環境政策経営学科、環境マネジメント学科学費の相場観
- 19 建築・環境デザイン学科、情報システム学科の学費
- 20 建築・環境デザイン学科、情報システム学科学費の相場観
- 21 学科改編検討の認知度
- 22 期待される教育内容(環境学科)
- 23 期待される教育内容(経営学科)
- 24 望ましい設置形態
- 25 公立化された場合における進学候補対象となる可能性
- 26 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲
- 27 期待される地域貢献
- 28 取り上げてほしい研究テーマ
- 29 期待される社会人教育
- 30 従業員採用に当たっての大学卒業資格
- 31 採用の候補となる学生(経営学を履修し、企業経営に関心がある学生)
- 32 採用の候補となる学生(環境学を履修し、環境マインドがある学生)
- 33 就職に関する希望
- 34 県内就職する際の希望分野
- 35 大学進学率が低い原因
- 36 本県の大学進学率(43.6%)についての所感

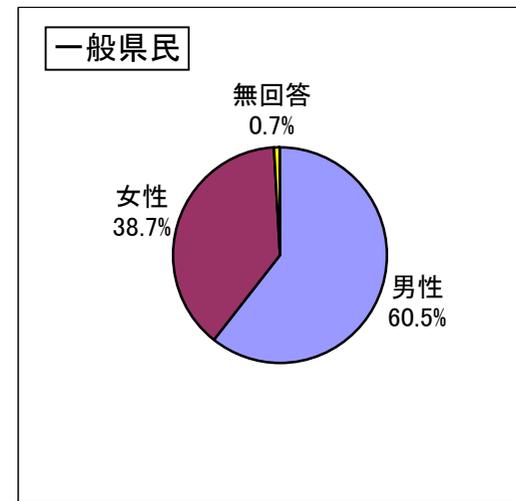
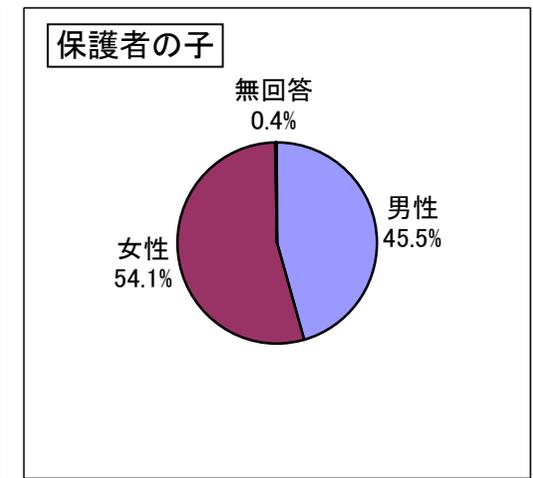
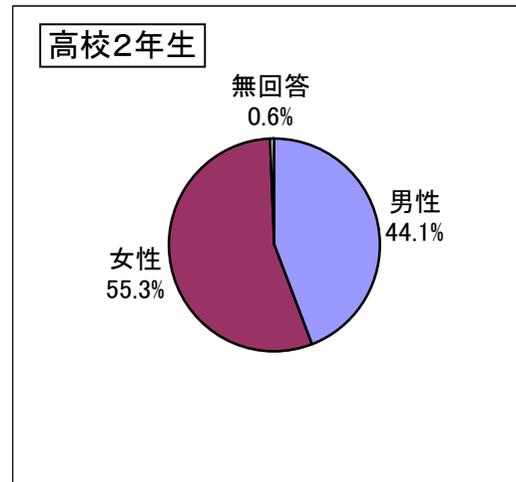
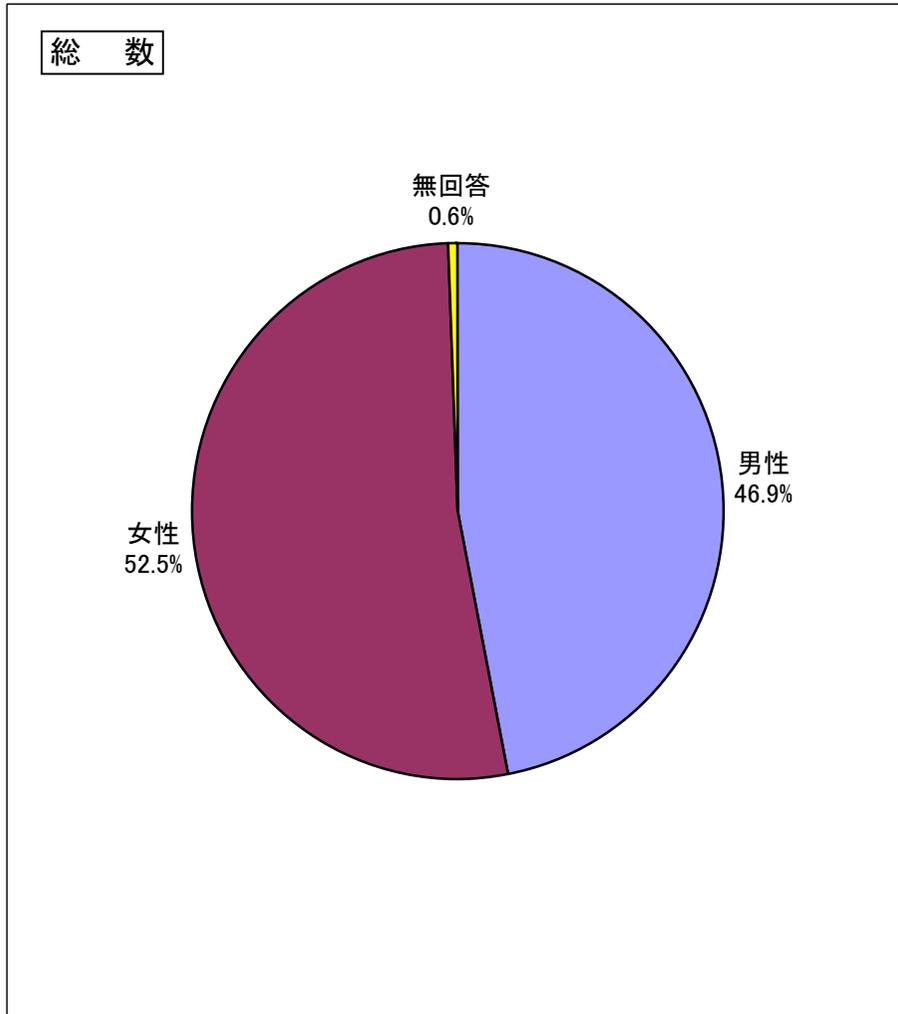
1 回答者の居住地



区分	総数		高校2年生		保護者		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
東部	1,391	44.5%	596	41.5%	418	43.3%	159	48.8%	218	54.1%
中部	645	20.6%	288	20.1%	234	24.2%	39	12.0%	84	20.8%
西部	1,031	32.9%	509	35.5%	300	31.1%	121	37.1%	101	25.1%
兵庫県	9	0.3%	6	0.4%	3	0.3%				
島根県	15	0.5%	9	0.6%	6	0.6%				
岡山県	9	0.3%	8	0.6%	1	0.1%				
無回答	29	0.9%	19	1.3%	3	0.3%	7	2.1%	0	0.0%
計	3,129	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

【設問内容】
 あなたは、どちらにお住まいですか。
 (企業の場合は所在地)

2 アンケート回答者の性別

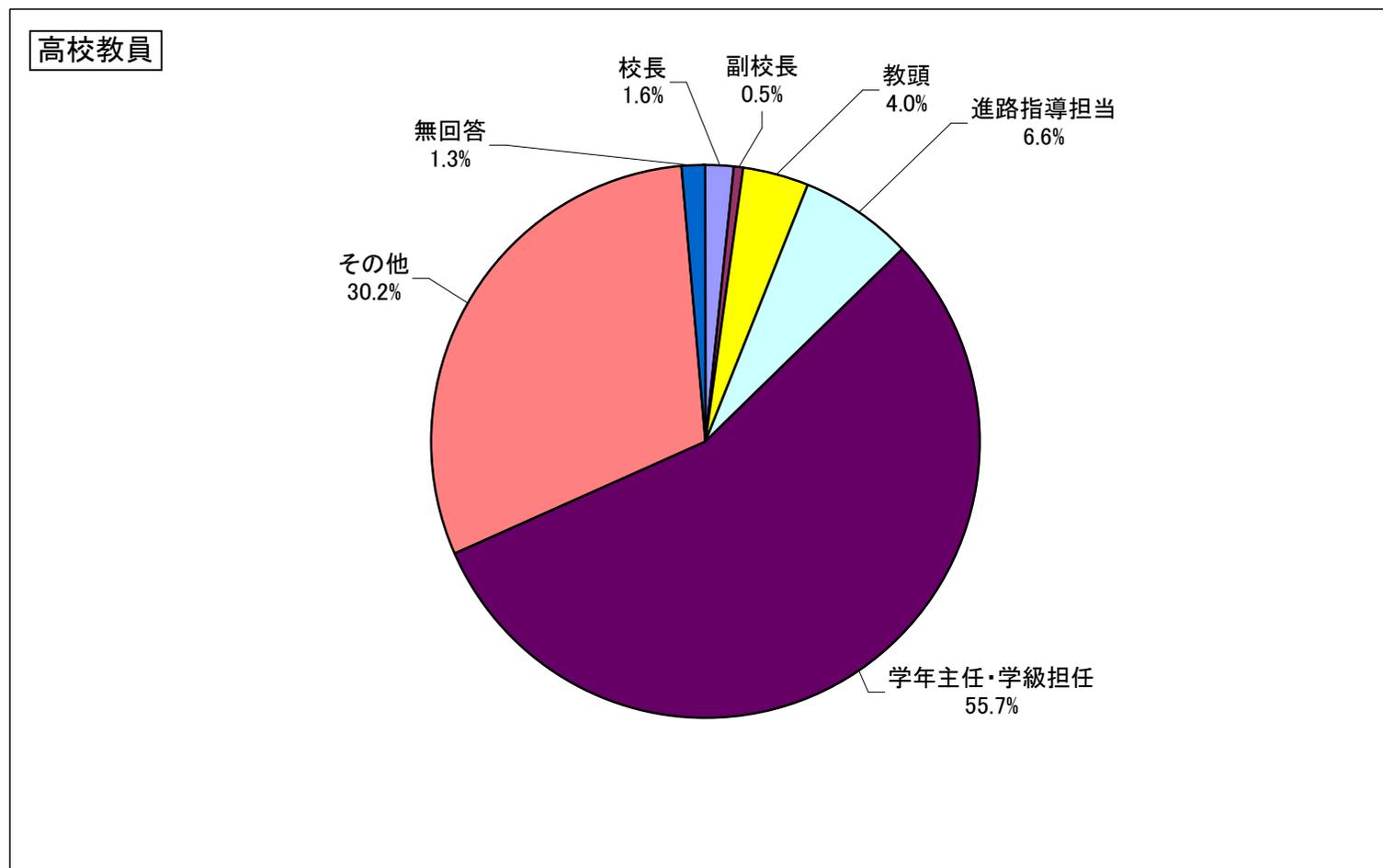


区分	総数		高校2年生		保護者の子		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	1,316	46.9%	633	44.1%	439	45.5%	244	60.5%
女性	1,471	52.5%	793	55.3%	522	54.1%	156	38.7%
無回答	16	0.6%	9	0.6%	4	0.4%	3	0.7%
計	2,803	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	403	100.0%

【設問内容】

あなたの性別を教えてください。
(保護者の場合は、子の性別)

3 アンケート回答教員の職位

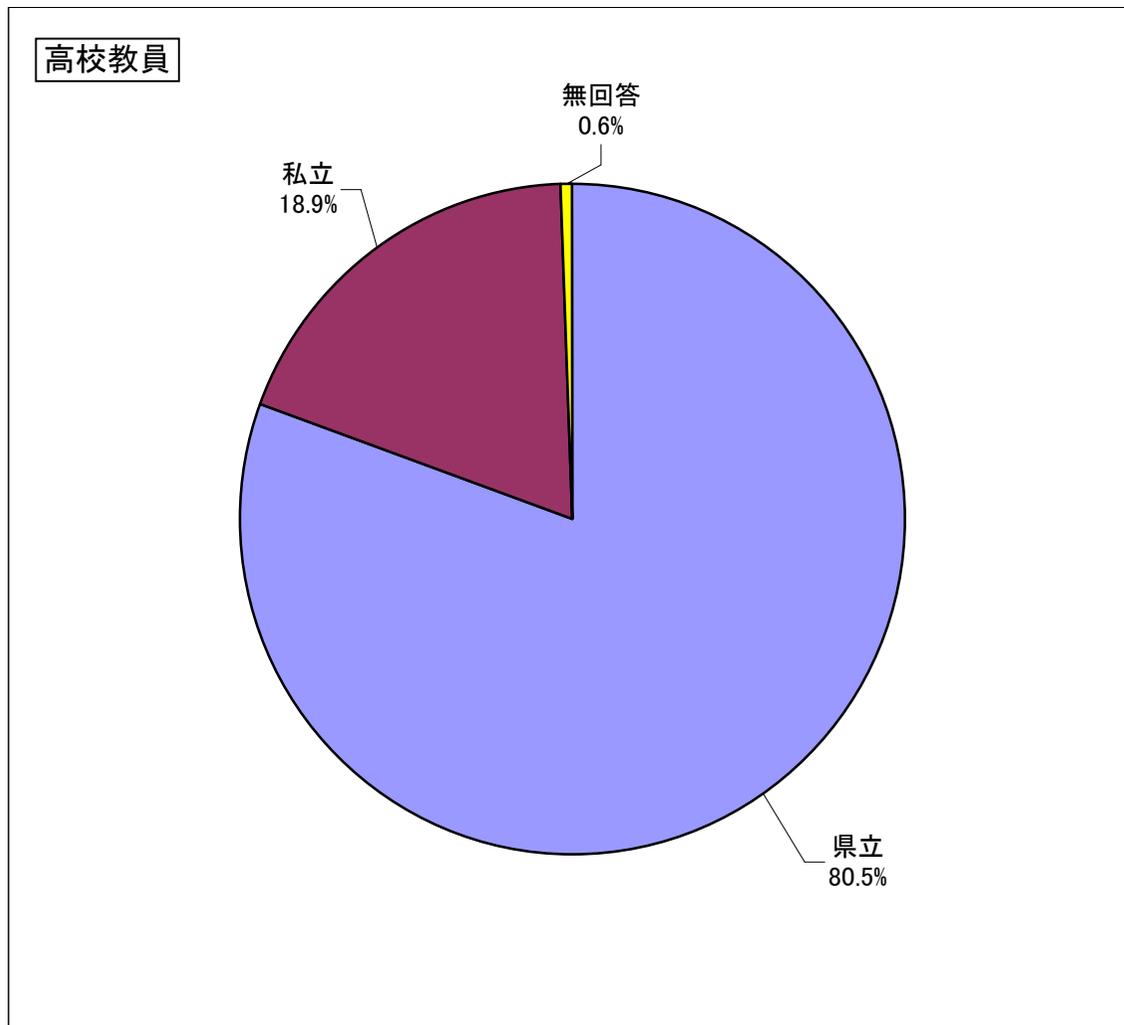


区分	高校教員	
	人数	割合 (%)
校長	18	1.6%
副校長	6	0.5%
教頭	45	4.0%
進路指導担当	75	6.6%
学年主任・学級担任	630	55.7%
その他	342	30.2%
無回答	15	1.3%
計	1,131	100.0%

【設問内容】

あなたの職位を教えてください。

4 アンケート回答教員勤務校の設置形態

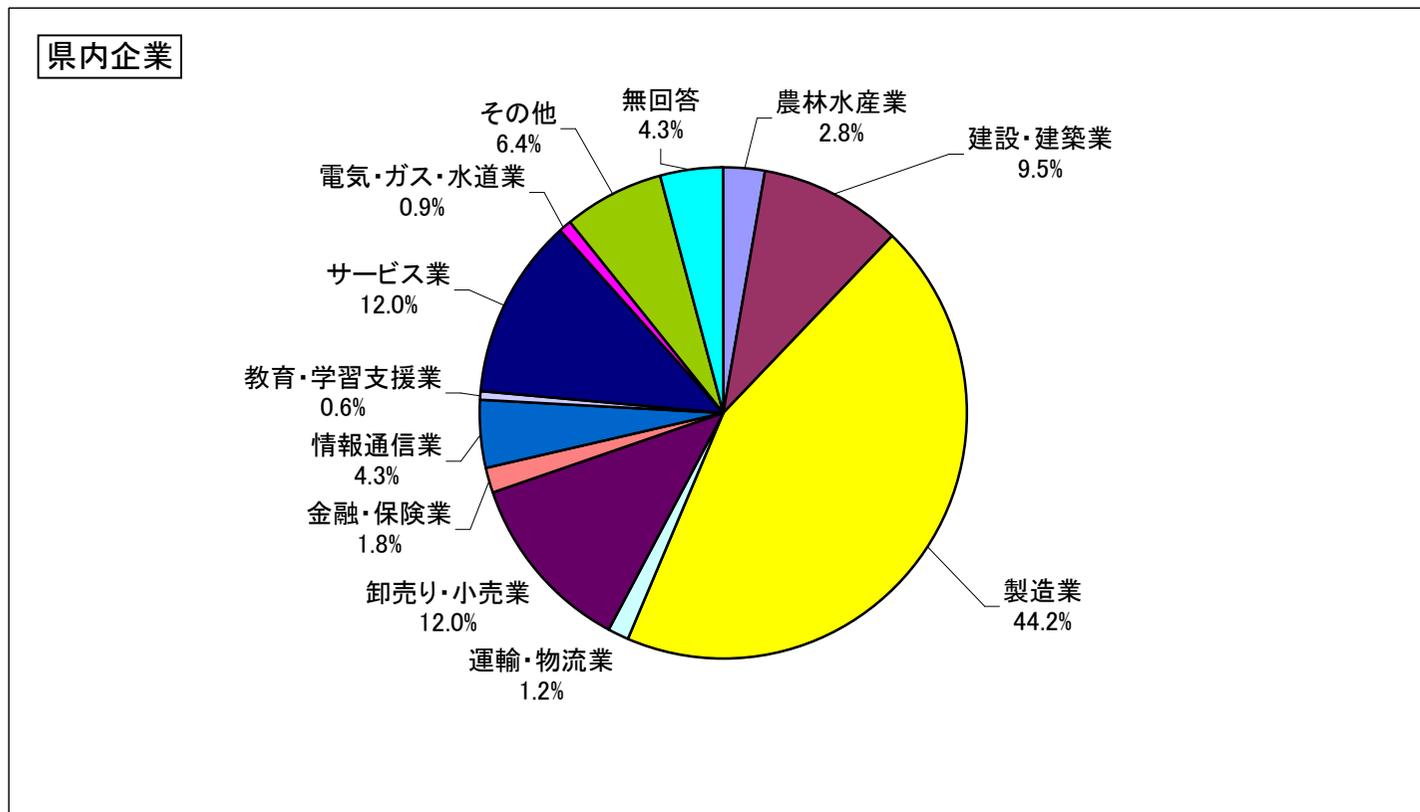


区分	高校教員	
	人数	割合(%)
県立	910	80.5%
私立	214	18.9%
無回答	7	0.6%
計	1,131	100.0%

【設問内容】

あなたがお勤めの高校の設置形態を教えてください。

5 アンケート回答企業の業種

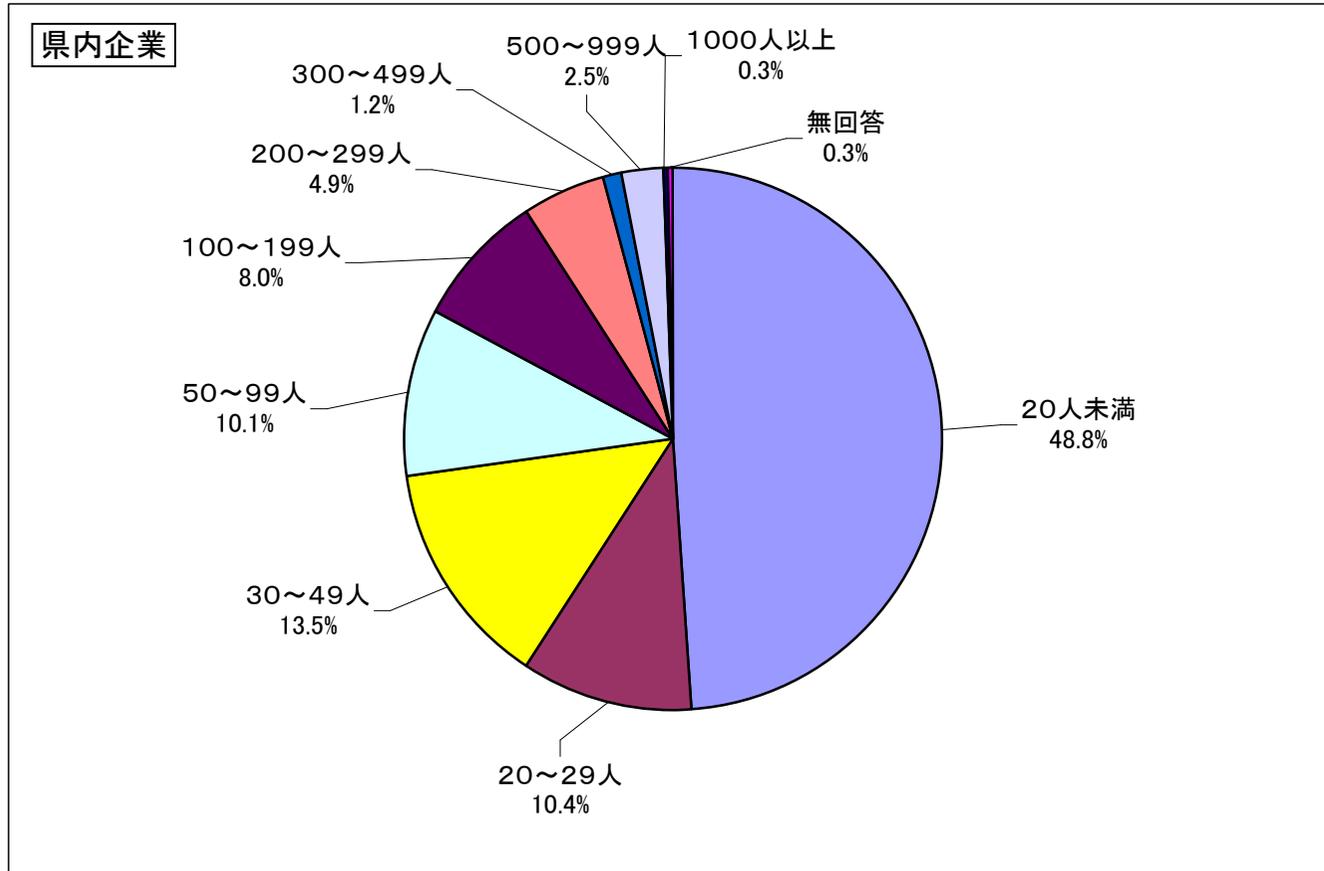


区分	県内企業	
	人数	割合 (%)
農林水産業	9	2.8%
建設・建築業	31	9.5%
製造業	144	44.2%
運輸・物流業	4	1.2%
卸売り・小売業	39	12.0%
金融・保険業	6	1.8%
情報通信業	14	4.3%
教育・学習支援業	2	0.6%
サービス業	39	12.0%
電気・ガス・水道業	3	0.9%
その他	21	6.4%
無回答	14	4.3%
計	326	100.0%

【設問内容】

御社の業種は、主に次のどれに属しますか。
 ①農林水産業 ②建設・建築業 ③製造業 ④運輸・物流業
 ⑤卸売り・小売業 ⑥金融・保険業 ⑦情報通信業
 ⑧教育・学習支援業 ⑨サービス業 ⑩電気・ガス・水道業
 ⑪その他()

6 アンケート回答企業の規模



区分	県内企業	
	人数	割合(%)
20人未満	159	48.8%
20~29人	34	10.4%
30~49人	44	13.5%
50~99人	33	10.1%
100~199人	26	8.0%
200~299人	16	4.9%
300~499人	4	1.2%
500~999人	8	2.5%
1000人以上	1	0.3%
無回答	1	0.3%
計	326	100.0%

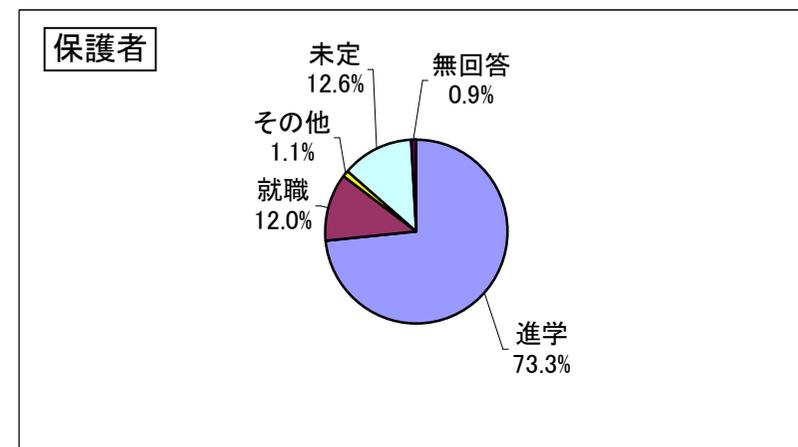
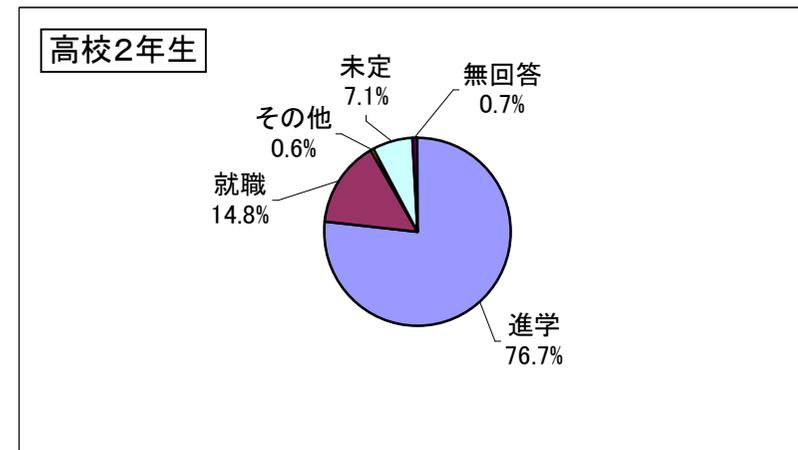
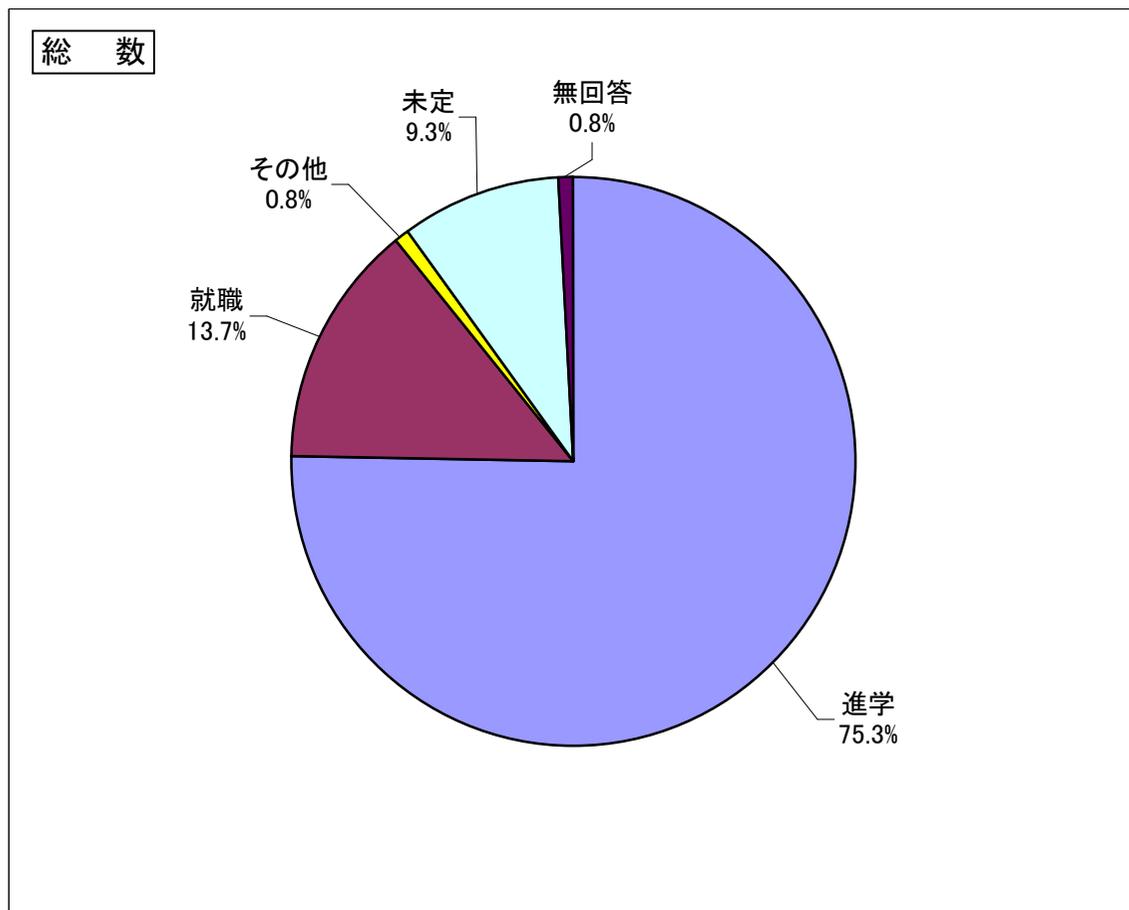
【設問内容】

御社の鳥取県内事業所の従業員数は、何名くらいですか。
 (パート及び派遣社員を含みます。)

- ①20人未満 ②20~29人 ③30~49人 ④50~99人
 ⑤100~199人 ⑥200~299人 ⑦300~499人
 ⑧500~999人 ⑨1000人以上

7 卒業後の進路

◆高校2年生及びその保護者ともに、約3/4が進学を希望している。

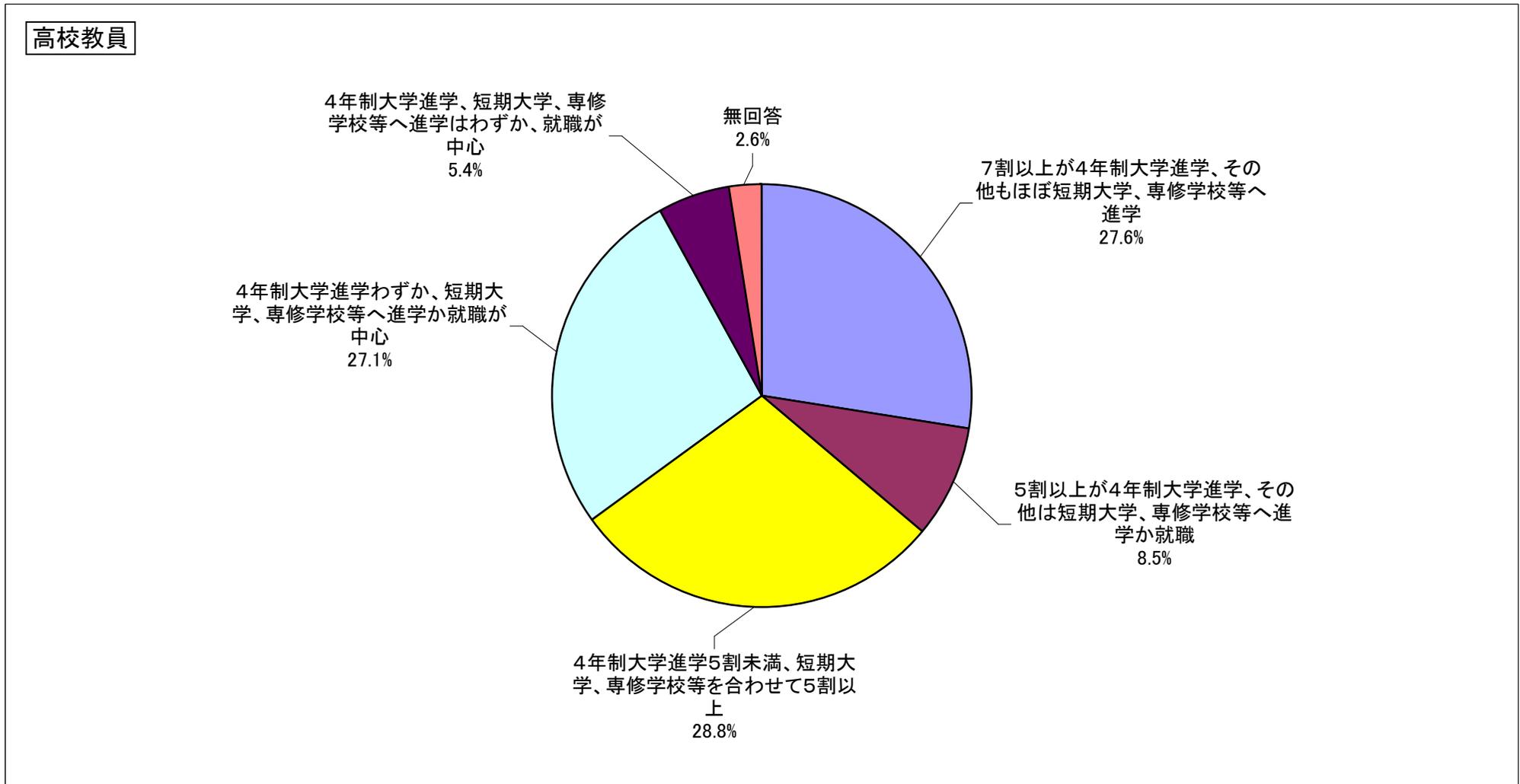


区分	総数		高校2年生		保護者	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)
進学	1,808	75.3%	1,101	76.7%	707	73.3%
就職	329	13.7%	213	14.8%	116	12.0%
その他	20	0.8%	9	0.6%	11	1.1%
未定	224	9.3%	102	7.1%	122	12.6%
無回答	19	0.8%	10	0.7%	9	0.9%
計	2,400	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%

【設問内容】

あなたは、高校卒業後、どのような進路を希望していますか。
 (保護者の場合は、子どもの卒業後の進路についての希望)

8 高校教員が属している学校の進路傾向



区分	高校教員	
	人数	割合(%)
7割以上が4年制大学進学、その他もほぼ短期大学、専修学校等へ進学	312	27.6%
5割以上が4年制大学進学、その他は短期大学、専修学校等へ進学か就職	96	8.5%
4年制大学進学5割未満、短期大学、専修学校等を合わせて5割以上	326	28.8%
4年制大学進学わずか、短期大学、専修学校等へ進学か就職が中心	307	27.1%
4年制大学進学、短期大学、専修学校等へ進学はわずか、就職が中心	61	5.4%
無回答	29	2.6%
計	1,131	100.0%

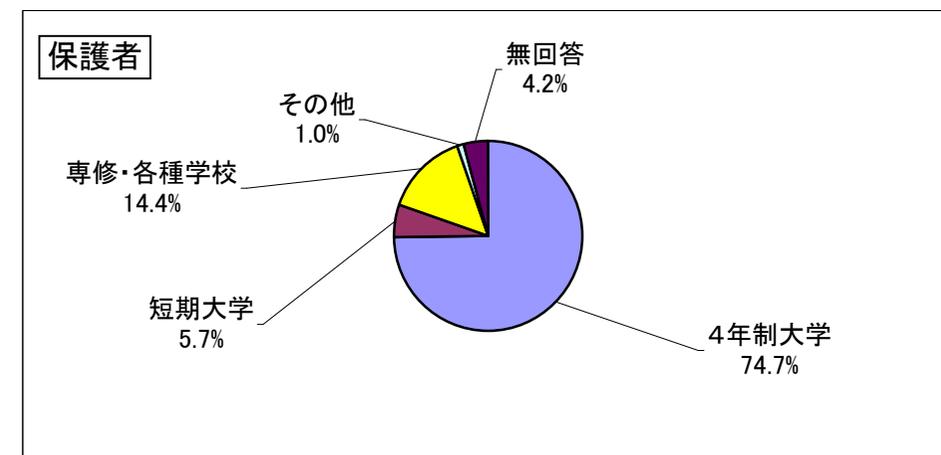
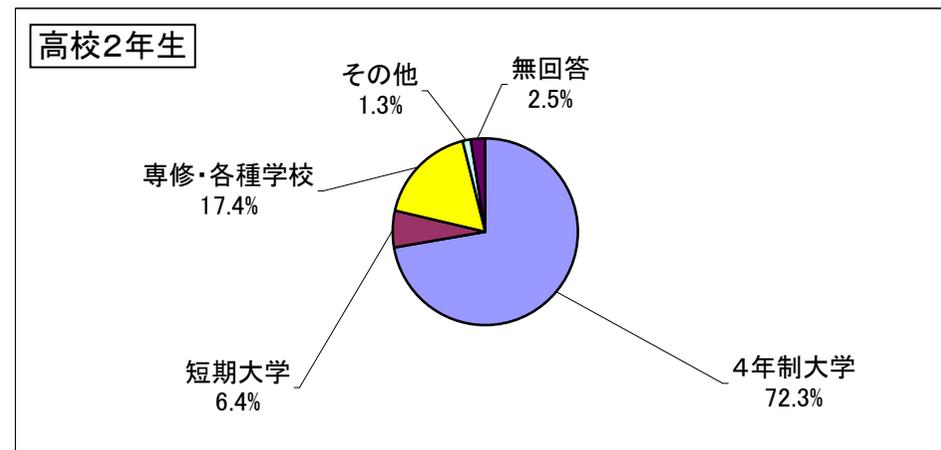
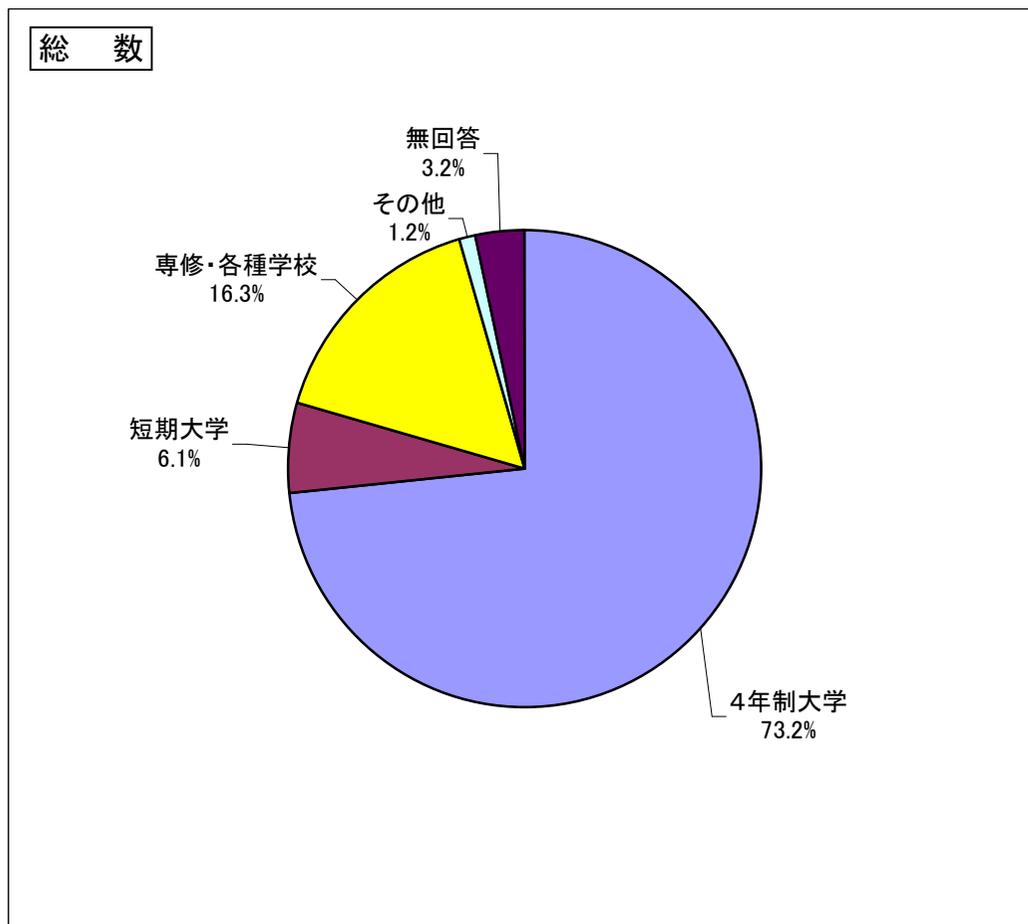
【設問内容】

貴校の生徒の高校卒業後の進路は、主にどのような傾向ですか。

- ①7割以上が4年制大学に進学し、その他もほぼ短期大学や専修学校等へ進学
- ②5割以上が4年制大学に進学し、その他は短期大学、専修学校等へ進学か就職
- ③4年制大学への進学は5割を下回るが、短期大学や専修学校等を合わせて5割を超える
- ④4年制大学への進学はわずかで、短期大学、専修学校等へ進学か、就職が中心
- ⑤4年制大学進学、短期大学、専修学校等へ進学ともわずかで、ほとんどが就職

9 志望校の種別

◆進学希望者のうち、約3/4が4年制大学への進学を希望している。



区分	全体		高校2年生		保護者	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
4年制大学	1,324	73.2%	796	72.3%	528	74.7%
短期大学	111	6.1%	71	6.4%	40	5.7%
専修・各種学校	294	16.3%	192	17.4%	102	14.4%
その他	21	1.2%	14	1.3%	7	1.0%
無回答	58	3.2%	28	2.5%	30	4.2%
計	1,808	100.0%	1,101	100.0%	707	100.0%

【設問内容】

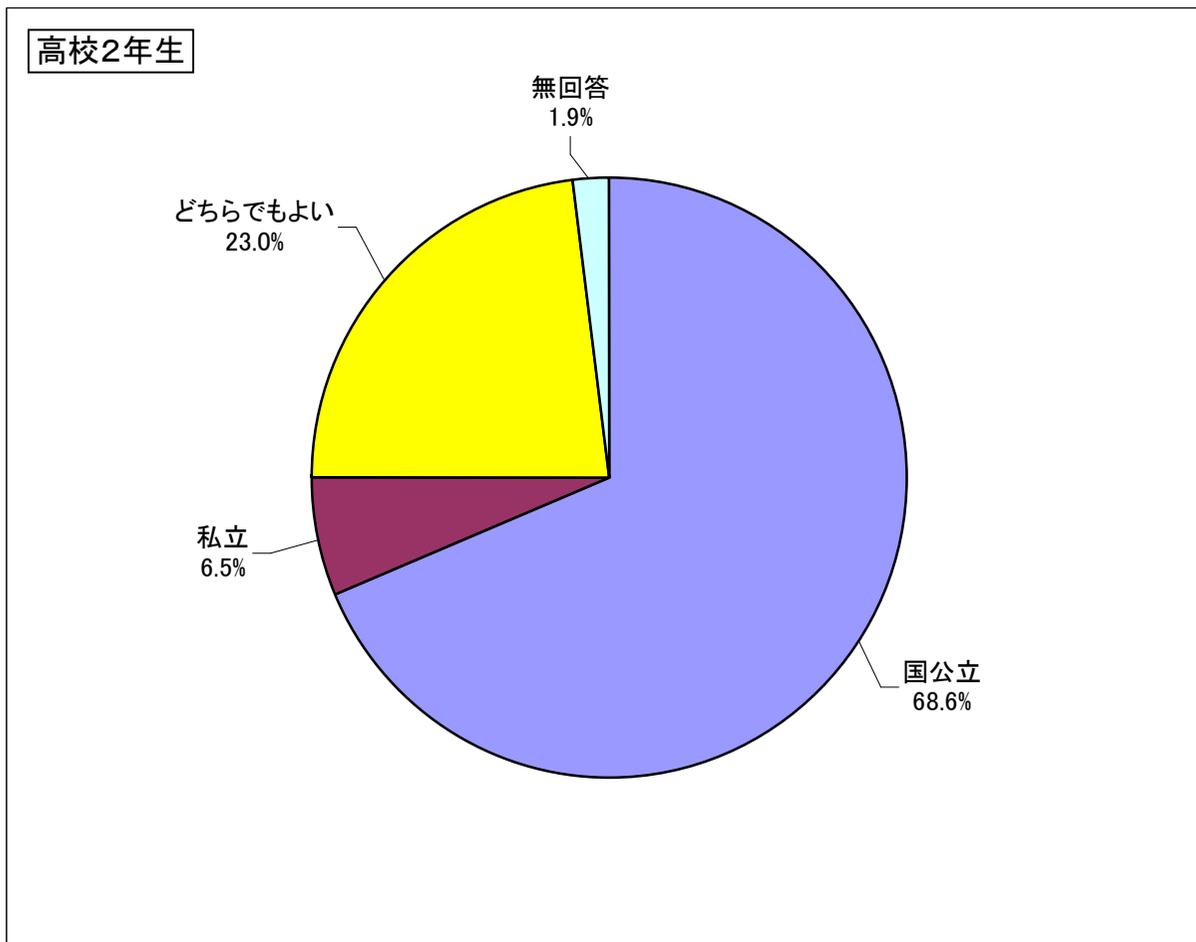
高校卒業後の進学希望について、あなたが希望する学校等の種類はどれですか。

(保護者の場合、子どもを進学させたい学校等の種類)

①4年制大学 ②短期大学 ③専修学校・各種学校 ④その他の進学

10 志望校の設置形態

◆進学希望者のうち、約7割が国公立を志望している。



区分	高校2年生	
	人数	割合(%)
国公立	755	68.6%
私立	72	6.5%
どちらでもよい	253	23.0%
無回答	21	1.9%
計	1,101	100.0%

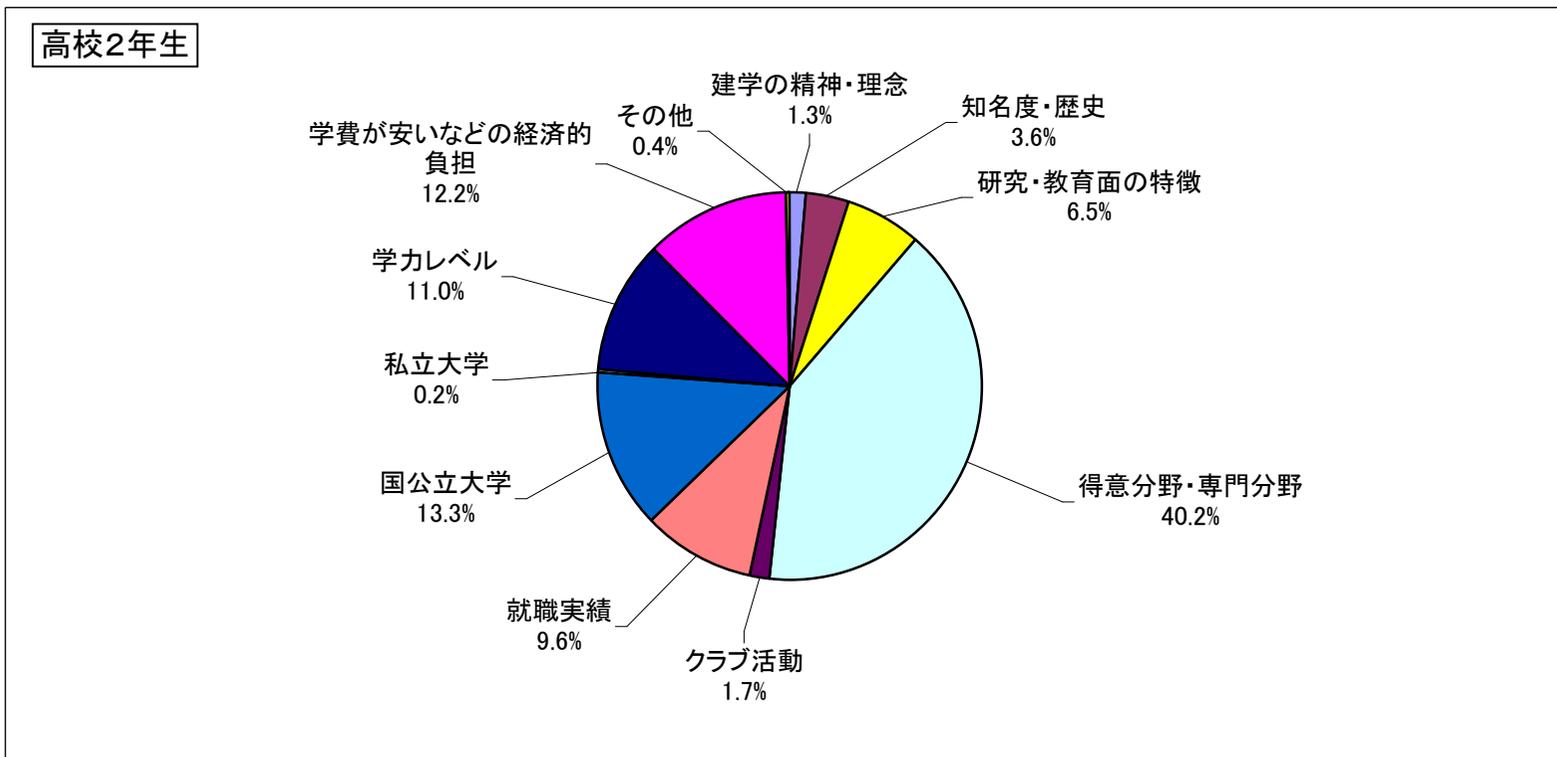
【設問内容】

どのような設置形態の学校に進学することを希望しますか。

①国公立 ②私立 ③どちらでもよい

11 志望校選択の要素 ※2つまで複数回答可

◆志望校を選択する際、「得意分野・専門分野が学べること」「国公立であること」「学費が安いこと」を重視している。



区分	高校2年生	
	人数	割合(%)
建学の精神・理念	25	1.3%
知名度・歴史	68	3.6%
研究・教育面の特徴	124	6.5%
得意分野・専門分野	763	40.2%
クラブ活動	33	1.7%
就職実績	182	9.6%
国公立大学	253	13.3%
私立大学	4	0.2%
学カレベル	209	11.0%
学費が安いなどの経済的負担	232	12.2%
その他	7	0.4%
計	1,900	100.0%

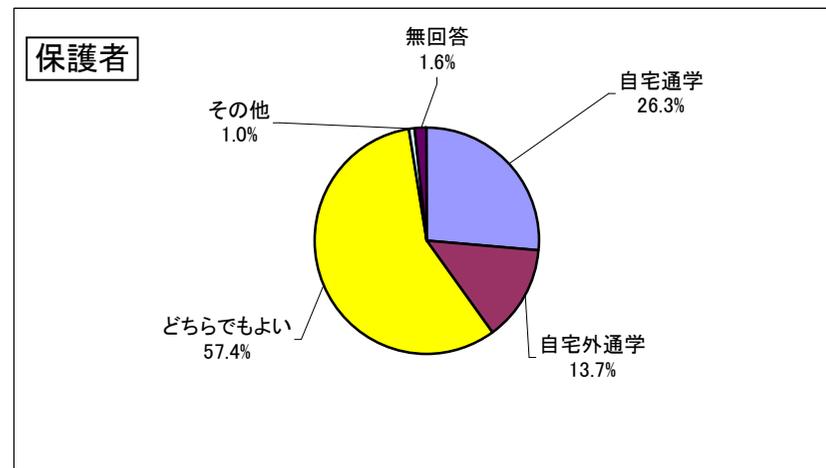
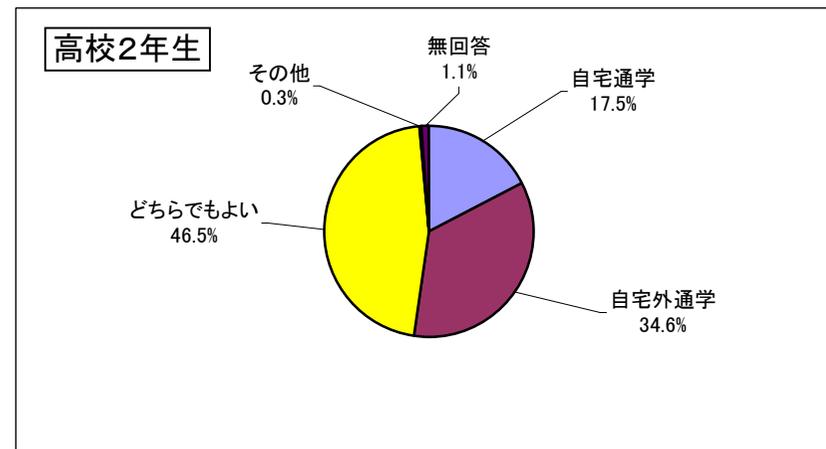
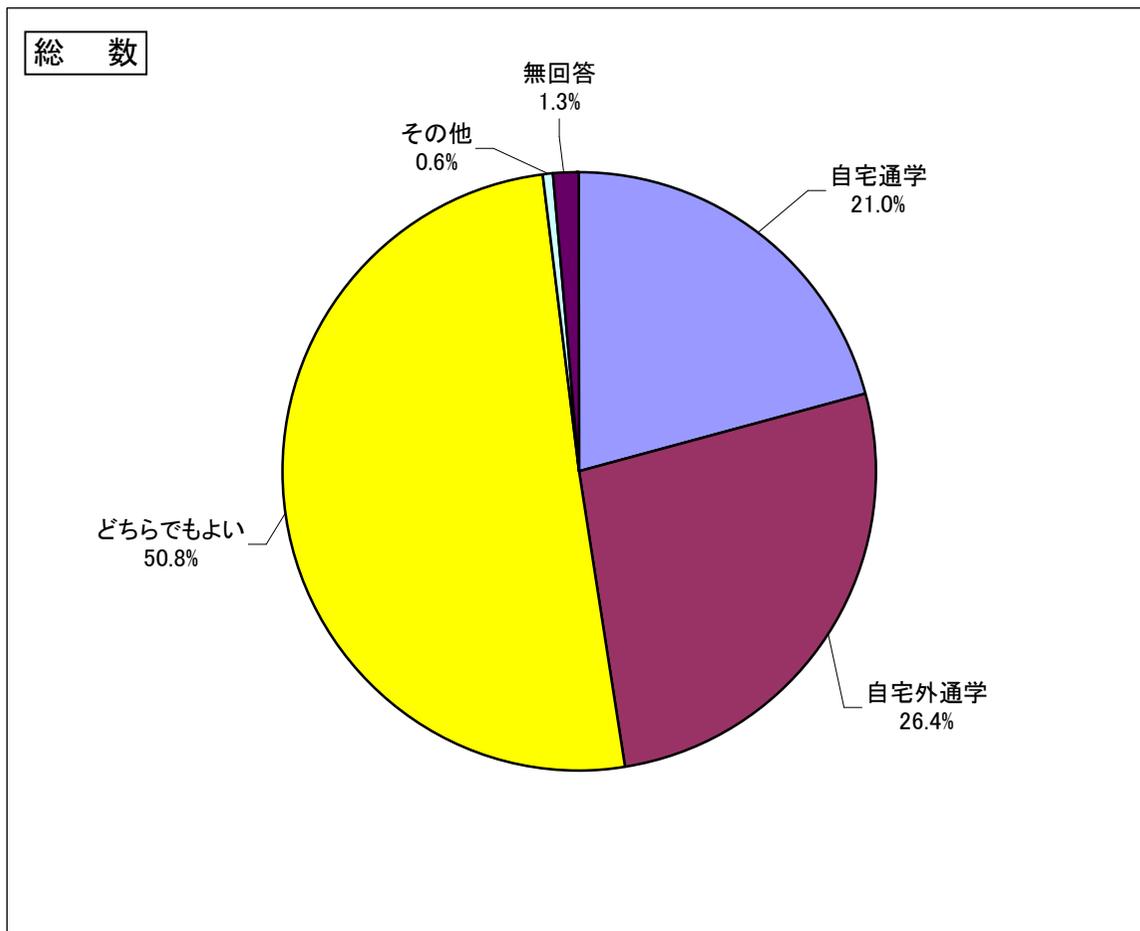
【設問内容】

志望校の選択で重視することは何ですか。2つ以内で選択してください。

- ①建学の精神や理念
- ②知名度・歴史がある
- ③研究・教育面で優れている
- ④自分の好きなことや専門分野が学べる
- ⑤高校時代の部活動が続けられる
- ⑥就職実績が良い
- ⑦国公立大学である
- ⑧私立大学である
- ⑨自分の学カレベルに合っている
- ⑩学費が安いなど経済的負担が軽い
- ⑪その他()

12 自宅通学可否の重要性

◆県内に大学が少ない中においても、21%が「自宅通学できること」を重視している。



区分	総数		高校2年生		保護者	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)
自宅通学	379	21.0%	193	17.5%	186	26.3%
自宅外通学	478	26.4%	381	34.6%	97	13.7%
どちらでもよい	918	50.8%	512	46.5%	406	57.4%
その他	10	0.6%	3	0.3%	7	1.0%
無回答	23	1.3%	12	1.1%	11	1.6%
計	1,808	100.0%	1,101	100.0%	707	100.0%

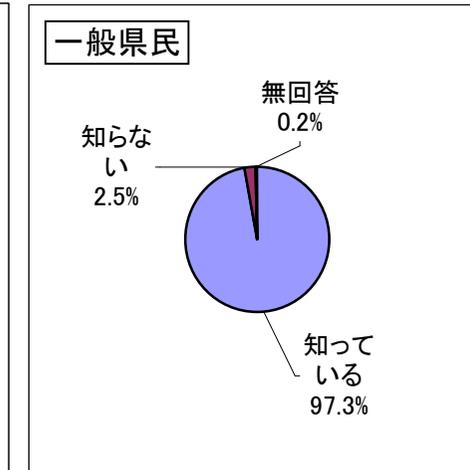
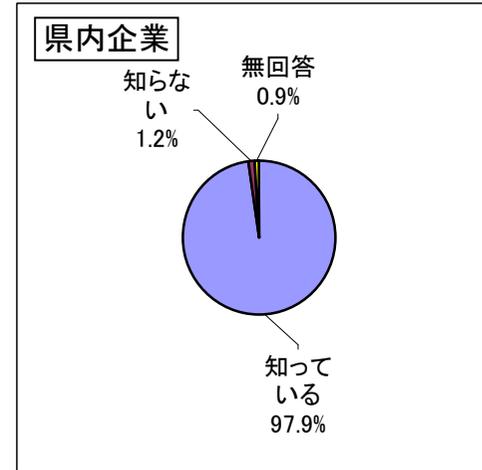
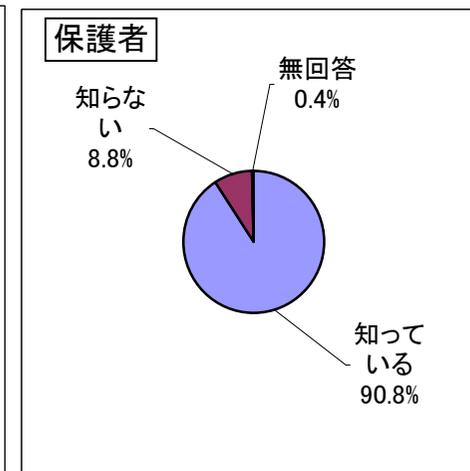
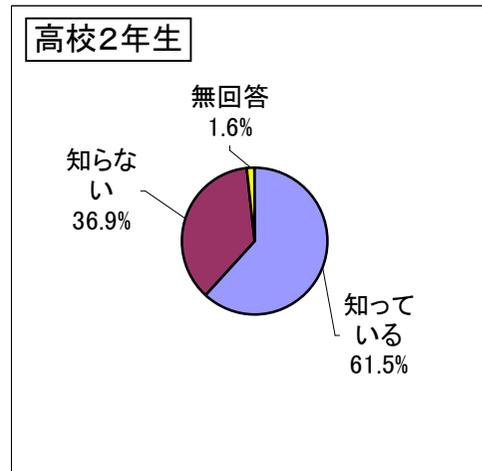
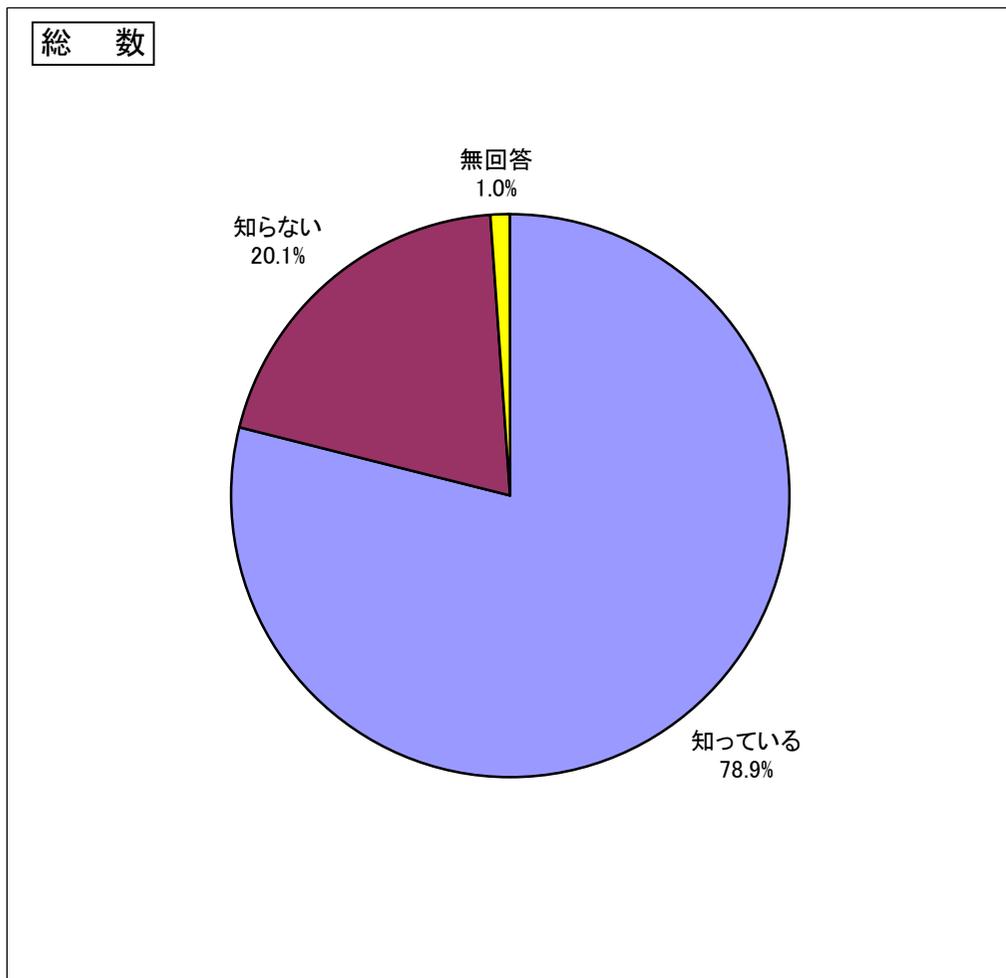
【設問内容】

志望校を選択する際に自宅通学の可否を重視しますか。
 (保護者の場合、子どもに志望校を選択させる際に重視するか)

- ①自宅通学できる方がよい
- ②実家を出る方がよい(県外の大学など)
- ③自宅通学の可否は関係ない
- ④その他()

13 環境大学の認知度

◆保護者、県内企業、一般県民は認知しているが、高校2年生の37%は鳥取環境大学を知らない。

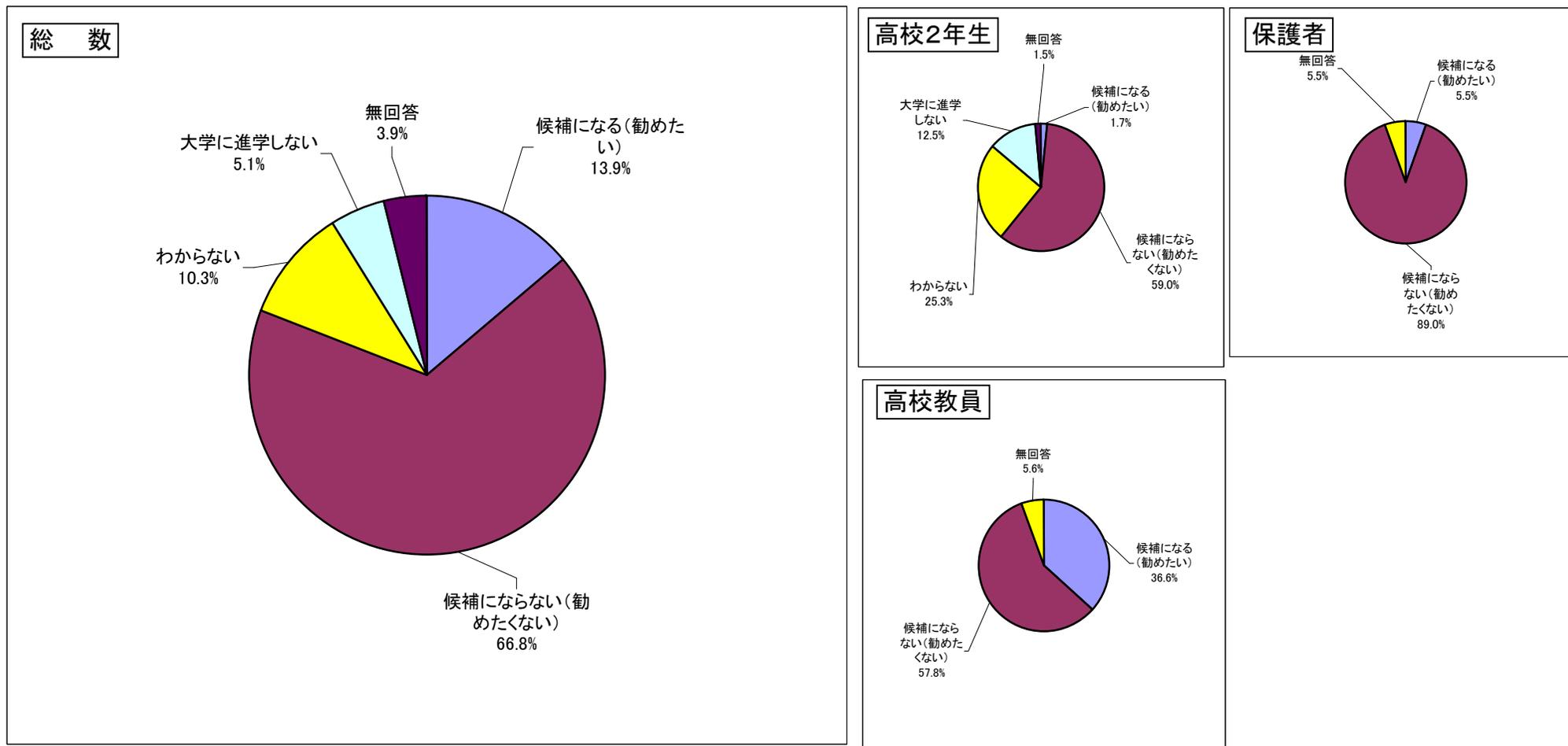


区分	総数		高校2年生		保護者		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
知っている	2,470	78.9%	883	61.5%	876	90.8%	319	97.9%	392	97.3%
知らない	628	20.1%	529	36.9%	85	8.8%	4	1.2%	10	2.5%
無回答	31	1.0%	23	1.6%	4	0.4%	3	0.9%	1	0.2%
計	3,129	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

【設問内容】
 鳥取環境大学は、平成13年に鳥取県と鳥取市によって設立された公設民営の大学ですが、鳥取環境大学を知っていますか。
 ①知っている ②知らない

14 進学先候補としての意識

◆高校2年生、保護者では「候補になる(勧めたい)」割合が低い、高校教員では約4割が「勧めたい」としている。



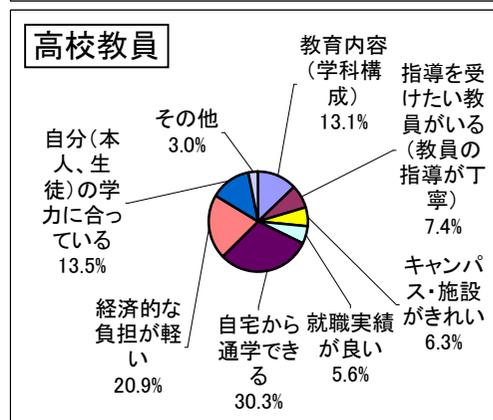
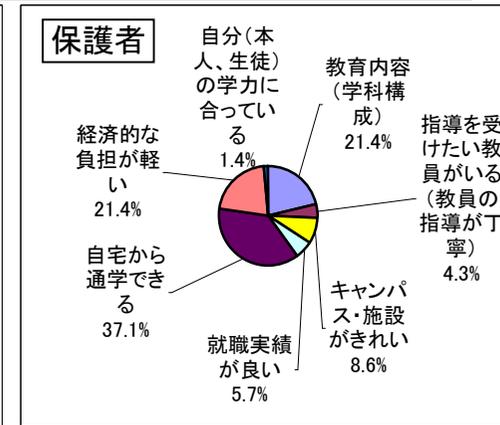
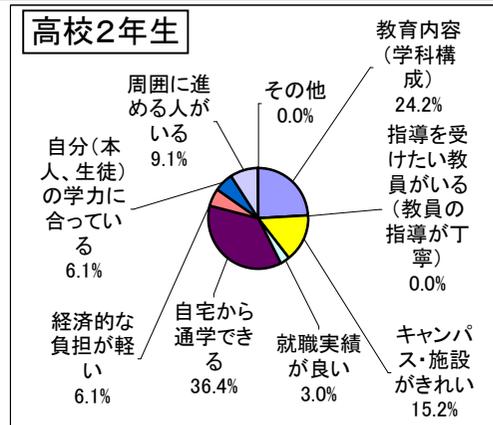
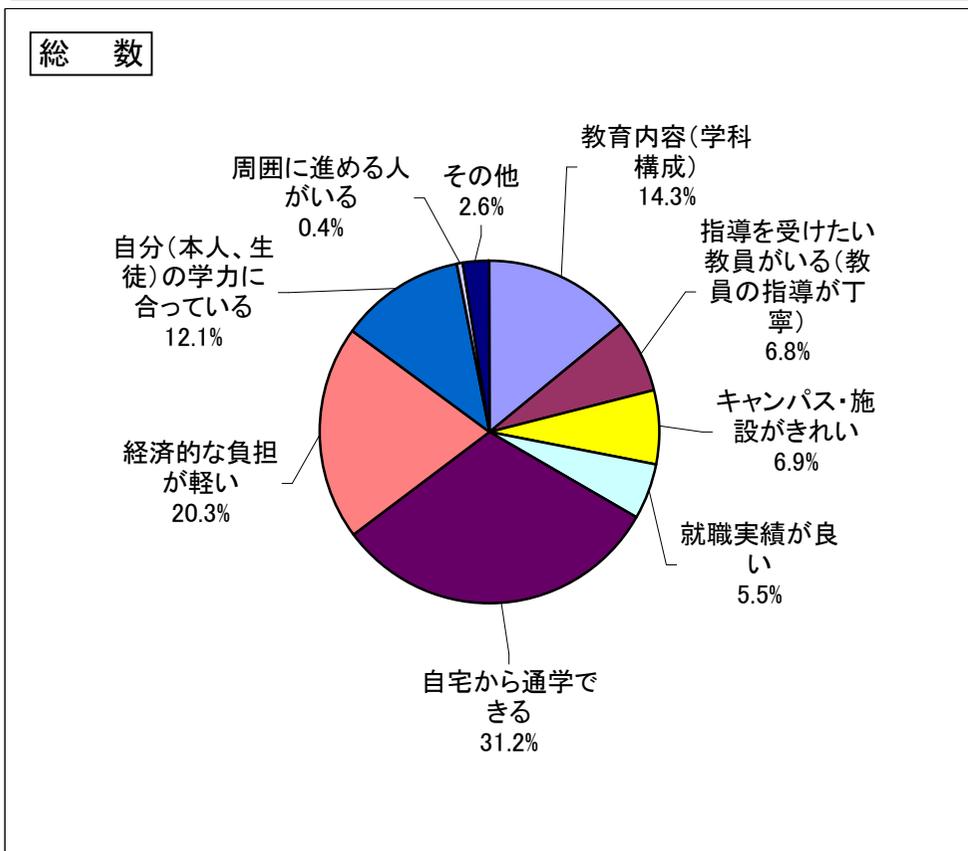
区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
候補になる(勧めたい)	491	13.9%	24	1.7%	53	5.5%	414	36.6%
候補にならない(勧めたくない)	2,360	66.8%	847	59.0%	859	89.0%	654	57.8%
わからない	363	10.3%	363	25.3%				
大学に進学しない	180	5.1%	180	12.5%				
無回答	137	3.9%	21	1.5%	53	5.5%	63	5.6%
計	3,531	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

【設問内容】

現在の鳥取環境大学は、進学先の候補になりますか。
 (保護者、高校教員の場合は進学先として勧めるか)
 ①候補になる(勧める) ②候補にならない(勧めない)
 ③わからない ④大学に進学しない
 ※③、④は高校2年生のみの設問

15 進学先候補となる理由 ※2つまで複数回答可

◆現在の環境大学を進学先候補とする理由は、「自宅から通学できる」「経済的な負担が軽い」「学びたい学問・分野がある」ことが主なものである。

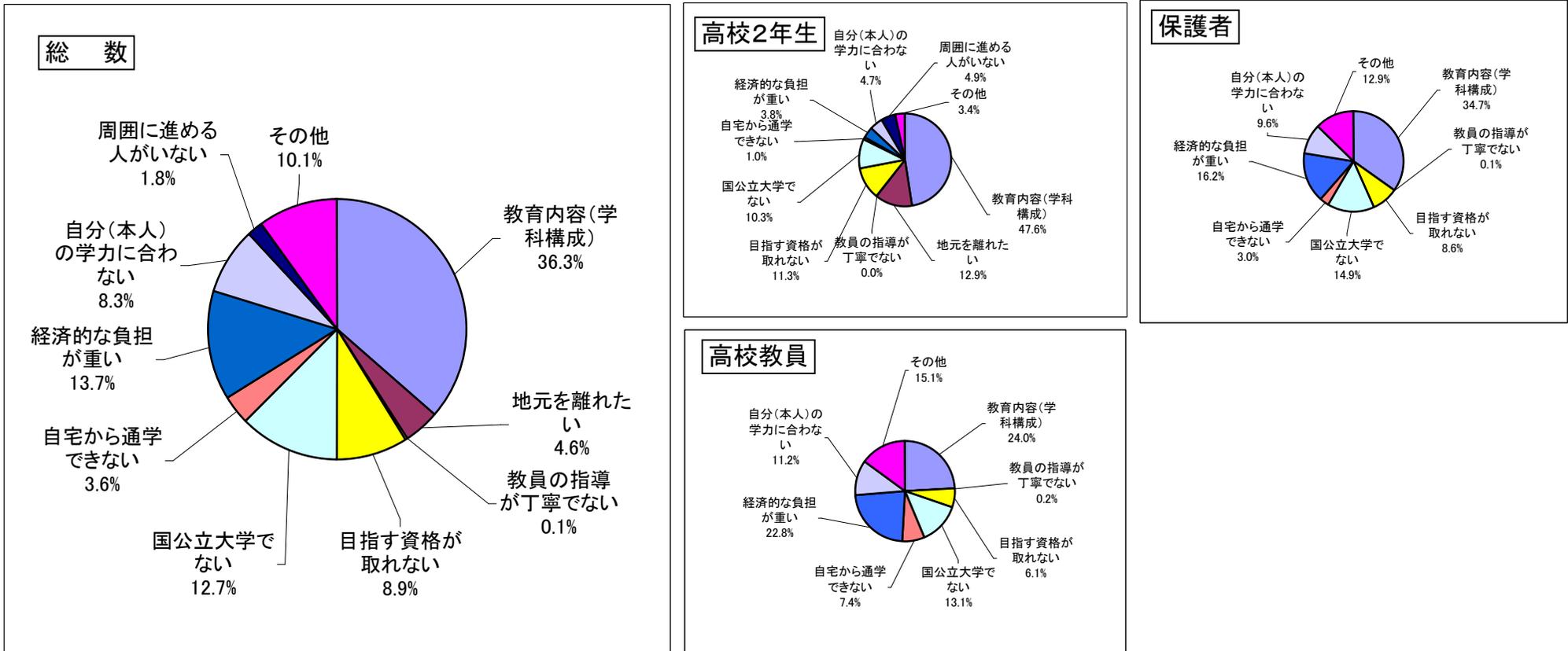


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
教育内容(学科構成)	110	14.3%	8	24.2%	15	21.4%	87	13.1%
指導を受けたい教員がいる(教員の指導が丁寧)	52	6.8%	0	0.0%	3	4.3%	49	7.4%
キャンパス・施設がきれい	53	6.9%	5	15.2%	6	8.6%	42	6.3%
就職実績が良い	42	5.5%	1	3.0%	4	5.7%	37	5.6%
自宅から通学できる	240	31.2%	12	36.4%	26	37.1%	202	30.3%
経済的な負担が軽い	156	20.3%	2	6.1%	15	21.4%	139	20.9%
自分(本人、生徒)の学力に合っている	93	12.1%	2	6.1%	1	1.4%	90	13.5%
周囲に進める人がある	3	0.4%	3	9.1%				
その他	20	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	20	3.0%
計	769	100.0%	33	100.0%	70	100.0%	666	100.0%

【設問内容】
 現在の環境大学が、進学先の候補となるのは、どのような理由ですか。(保護者、高校教員の場合は、勧める理由)
 ①学びたい内容の学問・分野(教育内容・学科構成)がある
 ②指導を受けたい教員がいる(教員の指導が丁寧)
 ③キャンパス・施設がきれい
 ④就職実績が良い ⑤自宅から通える
 ⑥経済的な負担が軽い
 ⑦自分(子ども・生徒)の学力に合っている
 ⑧周囲に勧める人がある ⑨その他()
 ※⑧は、高校2年生のみの設問

16 進学先候補とならない理由 ※2つまで複数回答可

◆環境大学を進学先候補としない理由は、「学びたい内容の学問・分野がない」「経済的な負担が重い」「国公立でない」ことが主なものである。



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
教育内容(学科構成)	1,234	36.3%	585	47.6%	413	34.7%	236	24.0%
地元を離れたくない	158	4.6%	158	12.9%				
教員の指導が丁寧でない	3	0.1%			1	0.1%	2	0.2%
目指す資格が取れない	301	8.9%	139	11.3%	102	8.6%	60	6.1%
国公立大学でない	433	12.7%	127	10.3%	177	14.9%	129	13.1%
自宅から通学できない	121	3.6%	12	1.0%	36	3.0%	73	7.4%
経済的な負担が重い	464	13.7%	47	3.8%	193	16.2%	224	22.8%
自分(本人)の学力に合わない	282	8.3%	58	4.7%	114	9.6%	110	11.2%
周囲に進める人がいない	60	1.8%	60	4.9%				
その他	343	10.1%	42	3.4%	153	12.9%	148	15.1%
計	3,399	100.0%	1,228	100.0%	1,189	100.0%	982	100.0%

【設問内容】

現在の環境大学が、進学先の候補とならないのは、どのような理由ですか。(保護者、高校教員の場合は、勧めない理由)

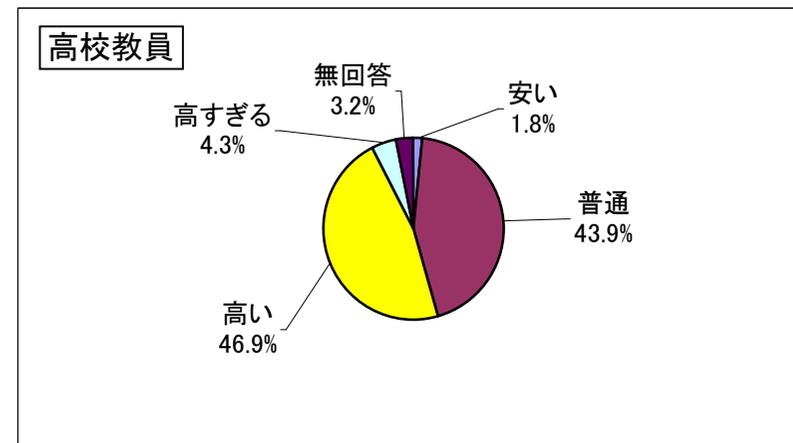
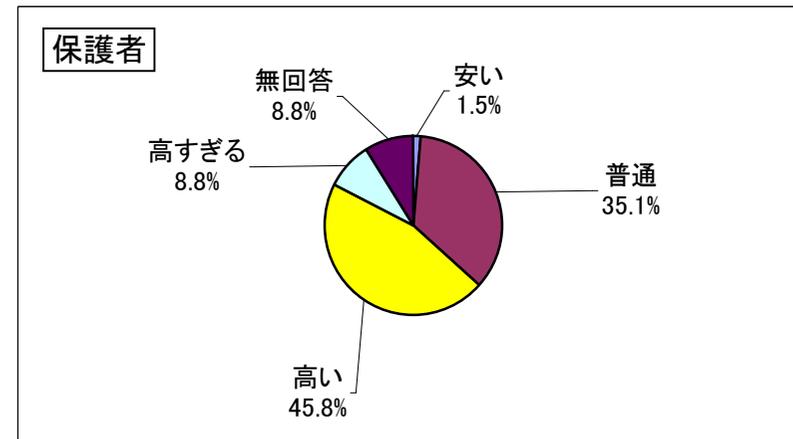
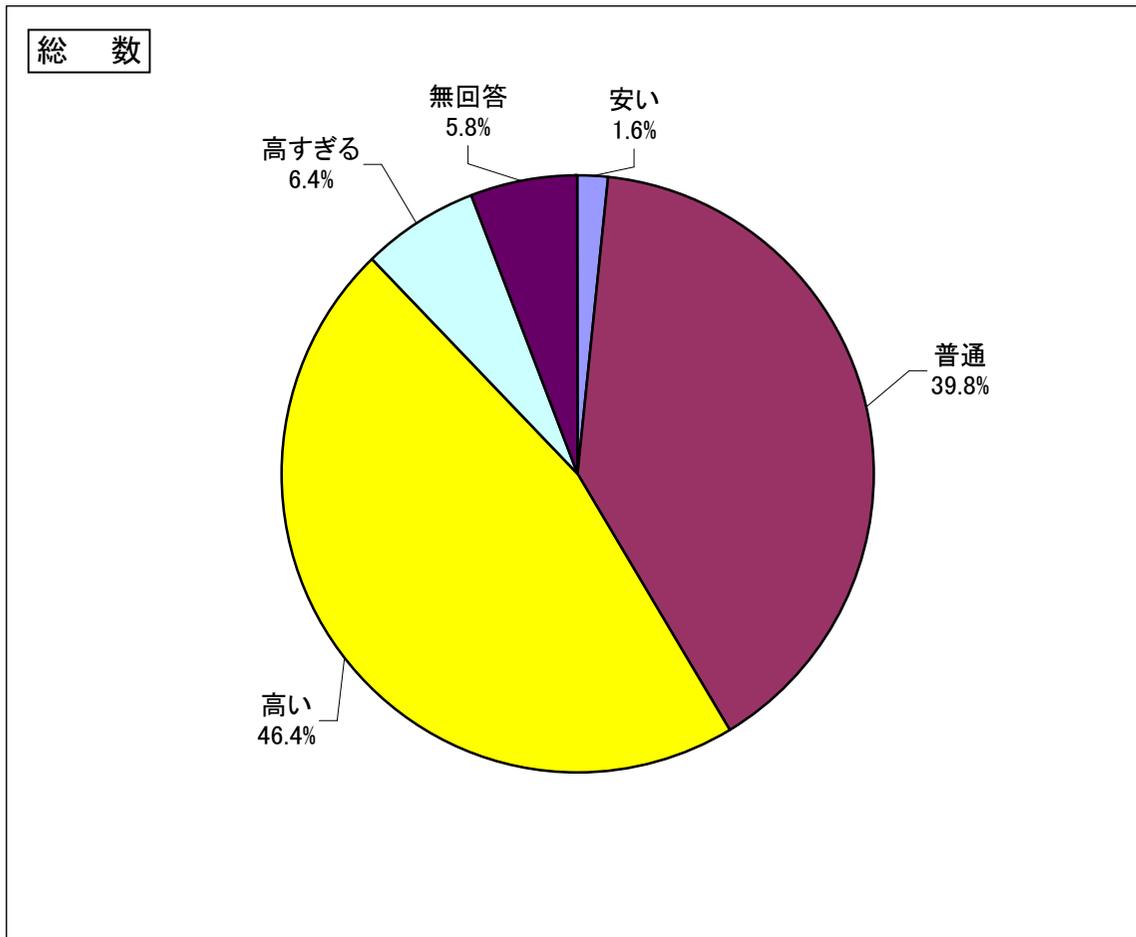
- ①学びたい内容の学問・分野(教育内容・学科構成)がない
- ②地元を離れたくない
- ③教員の指導が丁寧でない
- ④目指す資格が取れない ⑤国公立大学でない
- ⑥自宅から通えない ⑦経済的負担が重い
- ⑧自分(子ども・生徒)の学力に合わない
- ⑨周囲の人が勧めない ⑩その他()

※②、⑨は、高校2年生のみの設問

※③は、保護者、高校教員のみの設問

17 環境政策経営学科、環境マネジメント学科の学費

◆過半数は、学費が「高い」と感じている。



区分	総数		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
安い	34	1.6%	14	1.5%	20	1.8%
普通	835	39.8%	339	35.1%	496	43.9%
高い	972	46.4%	442	45.8%	530	46.9%
高すぎる	134	6.4%	85	8.8%	49	4.3%
無回答	121	5.8%	85	8.8%	36	3.2%
計	2,096	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

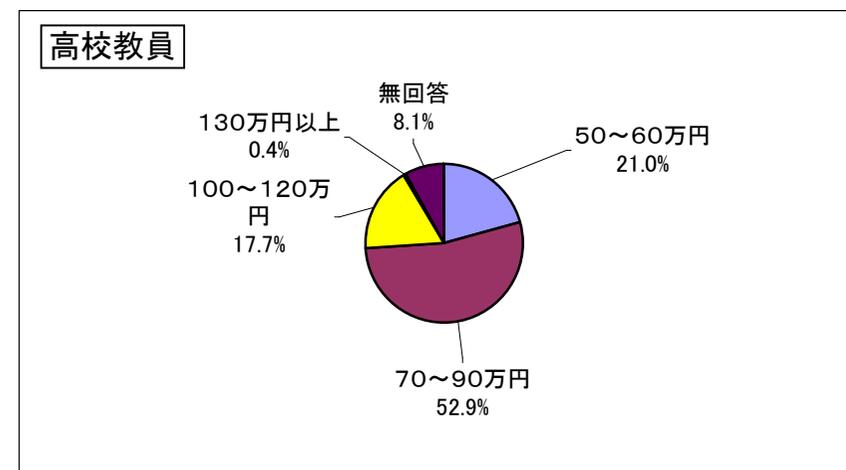
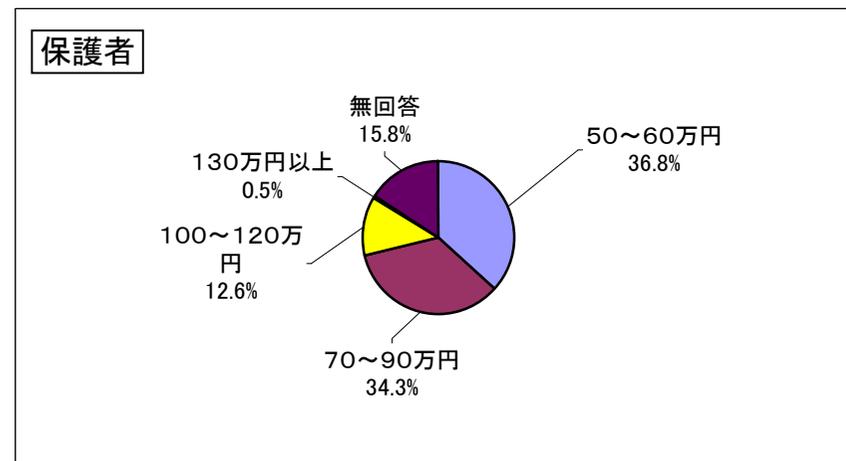
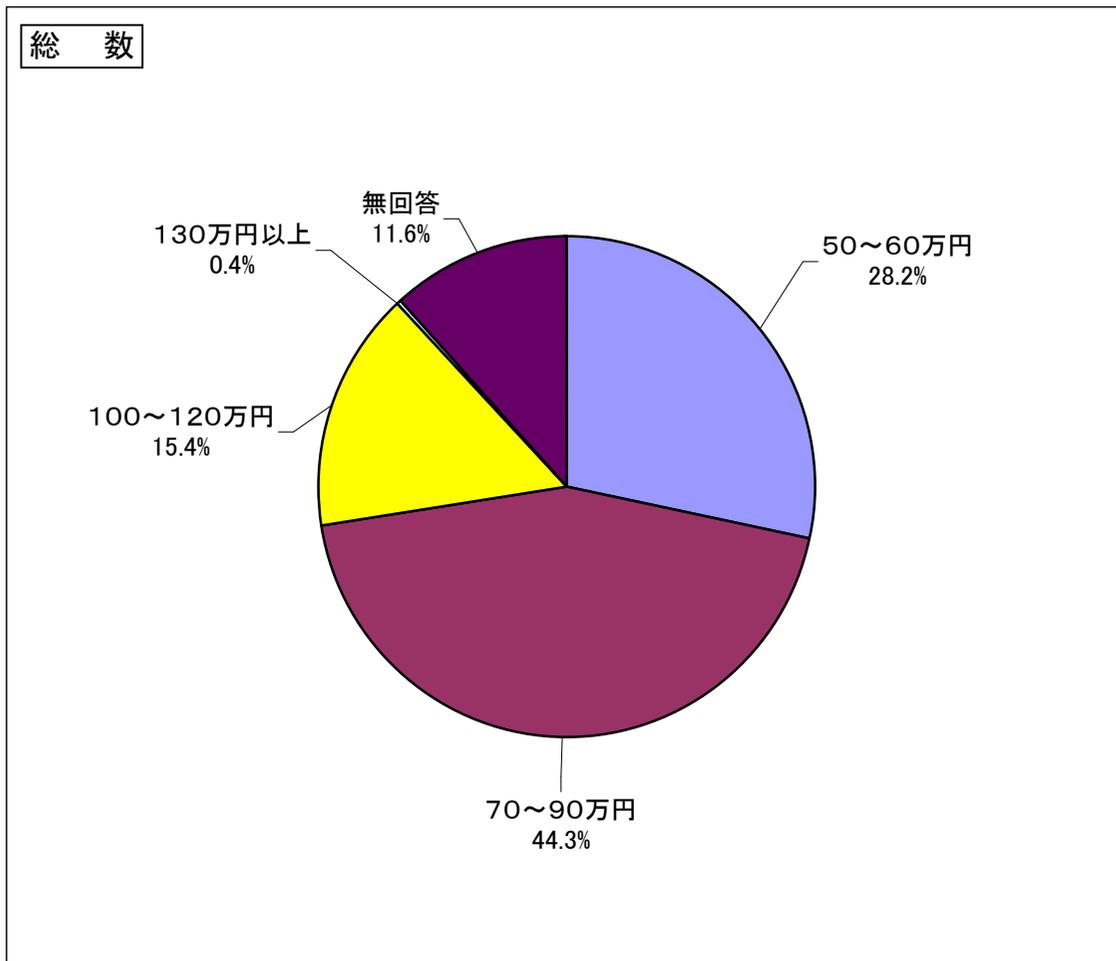
【設問内容】

環境政策経営学科、環境マネジメント学科の学費(100万円/年)について、どう思いますか。

- ①安い ②普通 ③高い ④高すぎる

18 環境政策経営学科、環境マネジメント学科学費の相場観

◆学費は、70～90万円、次に50～60万円が適当であると感じている。

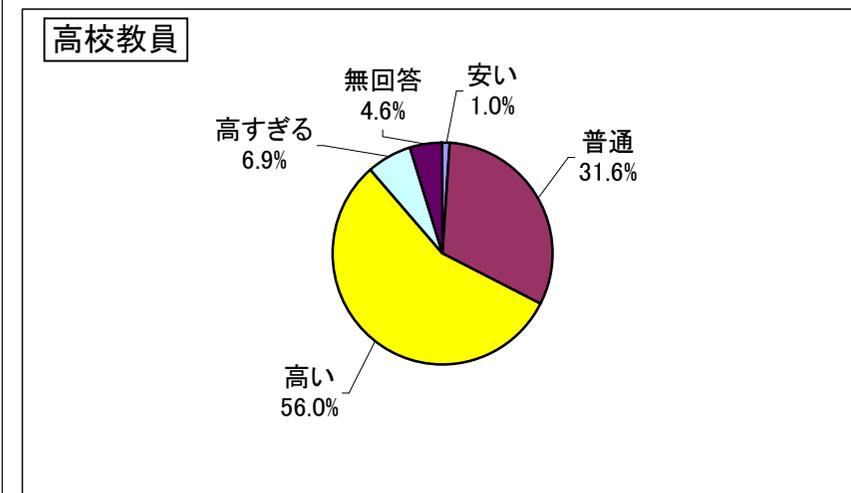
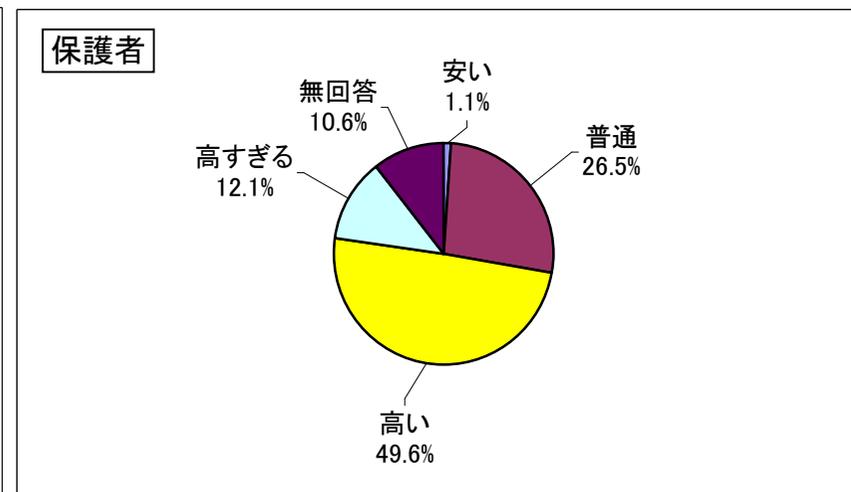
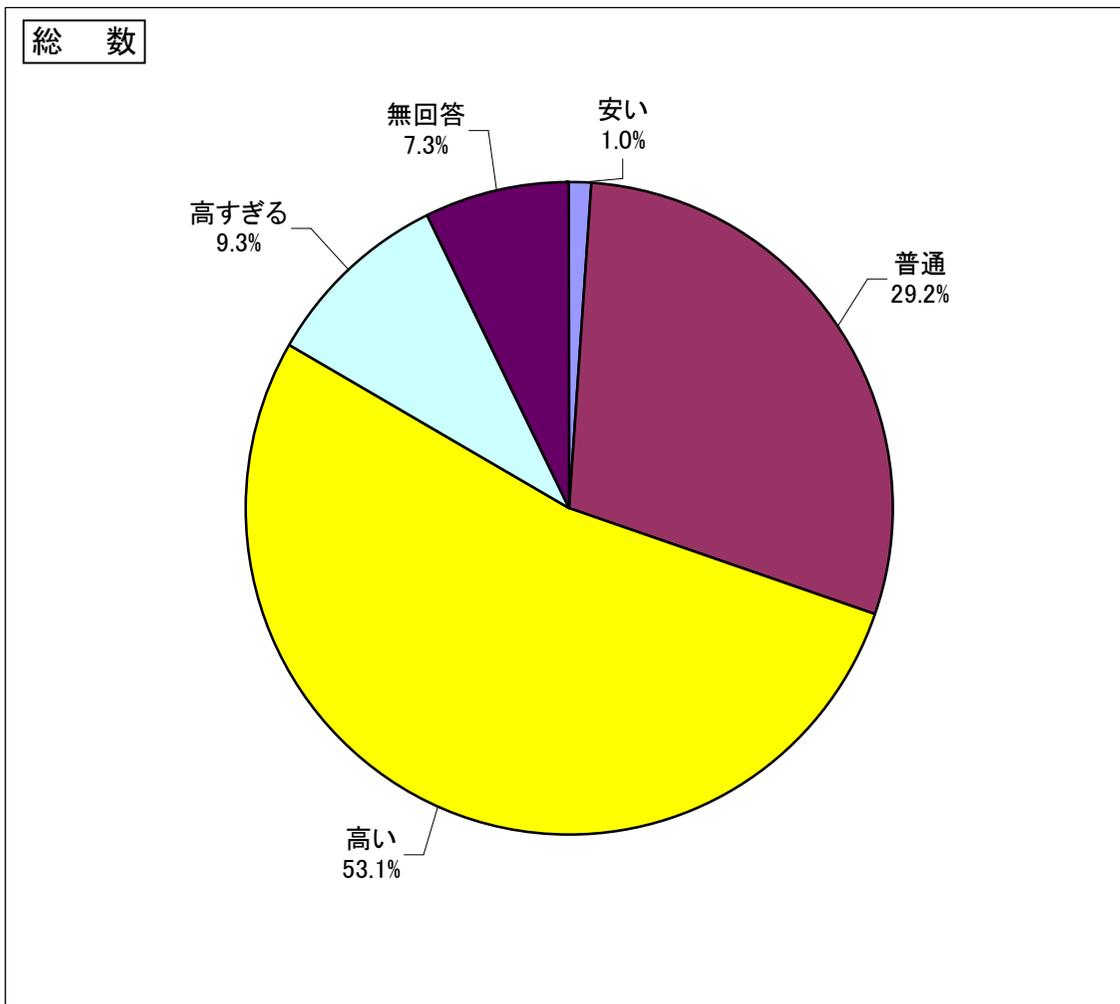


区分	総数		保護者		高校教員	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
50～60万円	592	28.2%	355	36.8%	237	21.0%
70～90万円	929	44.3%	331	34.3%	598	52.9%
100～120万円	322	15.4%	122	12.6%	200	17.7%
130万円以上	9	0.4%	5	0.5%	4	0.4%
無回答	244	11.6%	152	15.8%	92	8.1%
計	2,096	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

【設問内容】
環境政経経営学科、環境マネジメント学科の学費はどれくらいが適当ですか。
①50～60万円 ②70～90万円 ③100～120万円 ④130万円以上

19 建築・環境デザイン学科、情報システム学科の学費

◆過半数は、学費が「高い」と感じている。

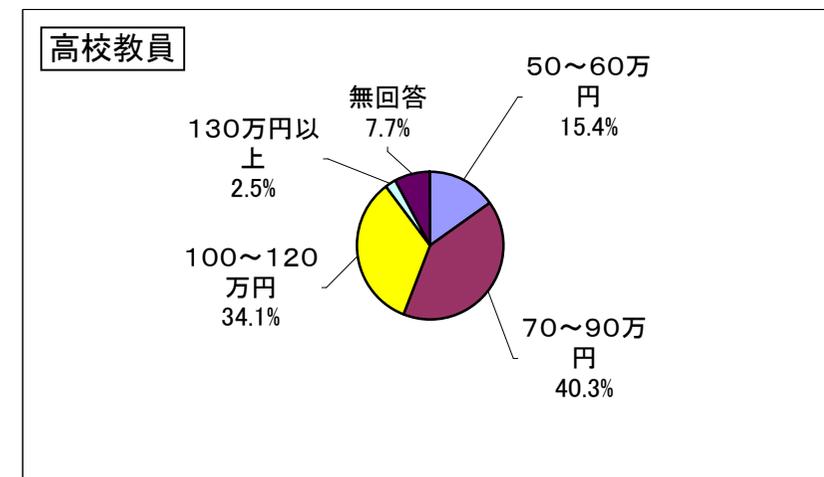
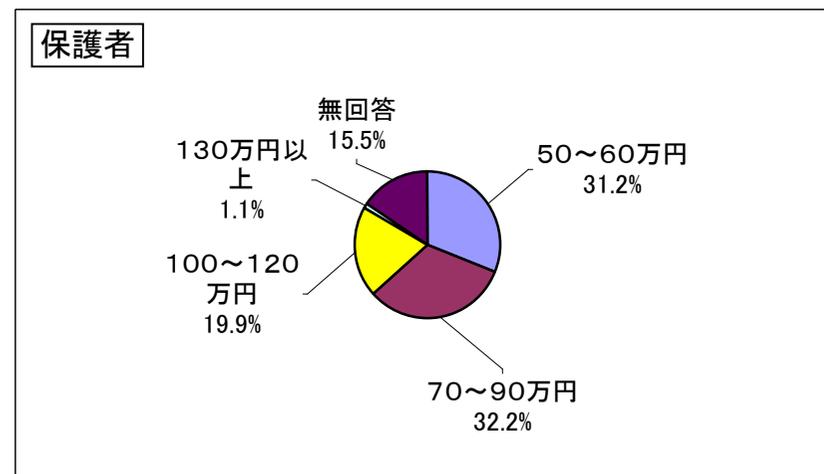
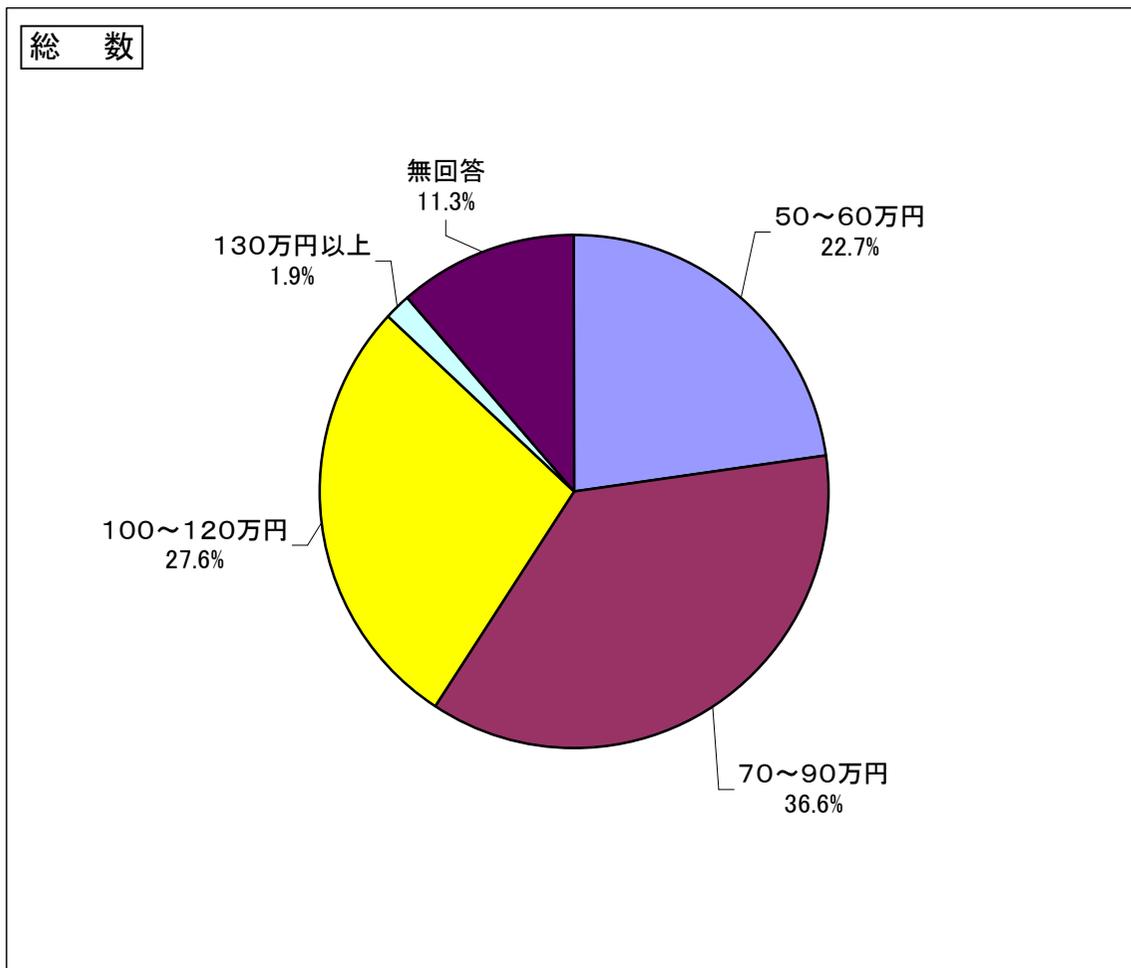


区分	総数		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
安い	22	1.0%	11	1.1%	11	1.0%
普通	613	29.2%	256	26.5%	357	31.6%
高い	1,112	53.1%	479	49.6%	633	56.0%
高すぎる	195	9.3%	117	12.1%	78	6.9%
無回答	154	7.3%	102	10.6%	52	4.6%
計	2,096	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

【設問内容】
 建築・環境デザイン学科、情報システム学科の学費(130万円/年)について、どう思いますか。
 ①安い ②普通 ③高い ④高すぎる

20 建築・環境デザイン学科、情報システム学科学費の相場観

◆学費は、70～90万円、次に100～120万円が適当であると感じている。



区分	総数		保護者		高校教員	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
50～60万円	475	22.7%	301	31.2%	174	15.4%
70～90万円	767	36.6%	311	32.2%	456	40.3%
100～120万円	578	27.6%	192	19.9%	386	34.1%
130万円以上	39	1.9%	11	1.1%	28	2.5%
無回答	237	11.3%	150	15.5%	87	7.7%
計	2,096	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

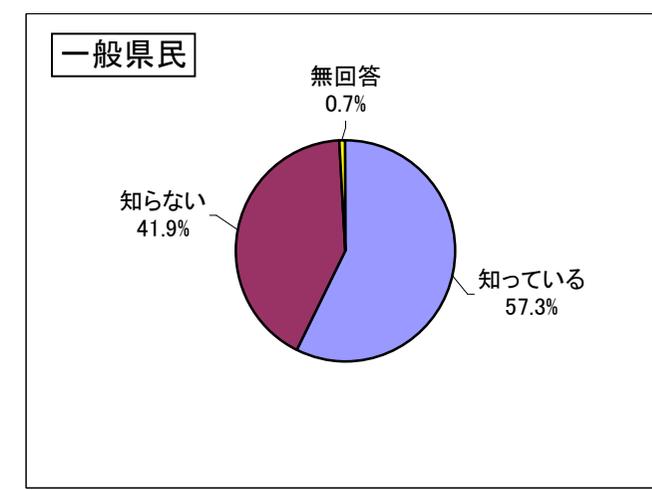
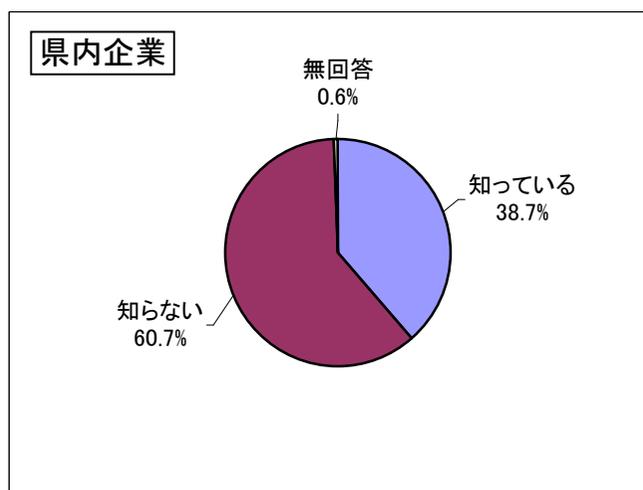
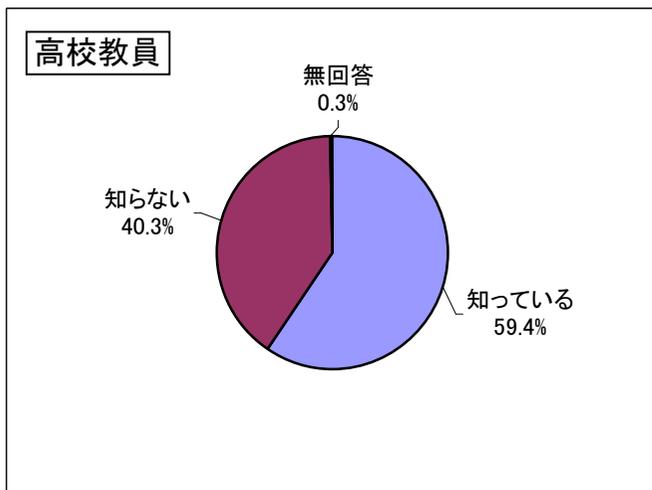
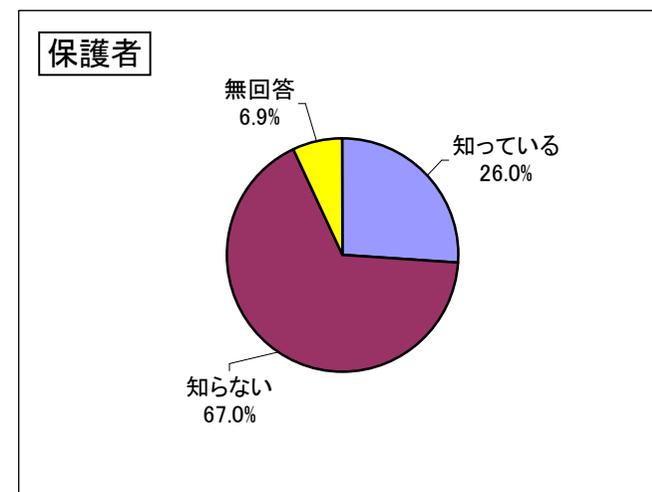
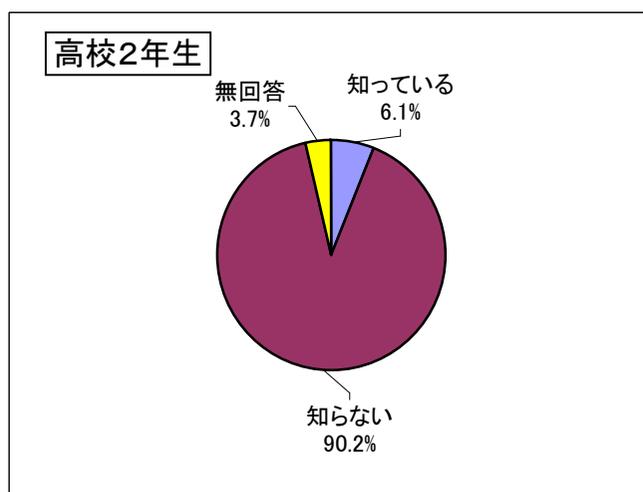
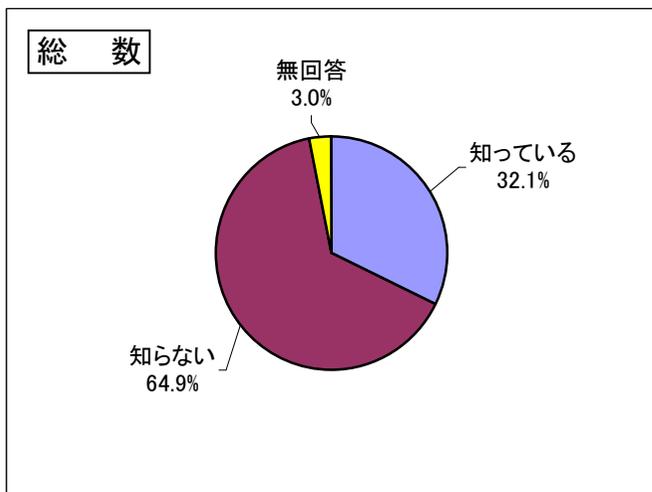
【設問内容】

建築・環境デザイン学科、情報システム学科の学費はどれくらいが適当ですか。

①50～60万円 ②70～90万円 ③100～120万円 ④130万円以上

21 学科改編検討の認知度

◆高校教員、一般県民の約6割は、学科改編の検討について知っているが、高校2年生や保護者にはあまり知られていない。



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
知っている	1,368	32.1%	88	6.1%	251	26.0%	672	59.4%	126	38.7%	231	57.3%
知らない	2,764	64.9%	1,294	90.2%	647	67.0%	456	40.3%	198	60.7%	169	41.9%
無回答	128	3.0%	53	3.7%	67	6.9%	3	0.3%	2	0.6%	3	0.7%
計	4,260	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

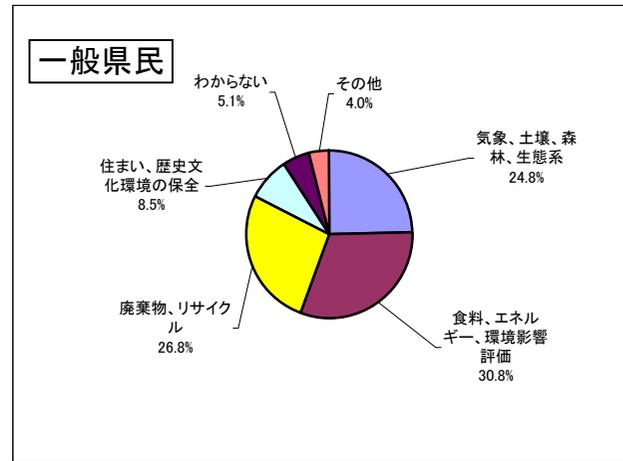
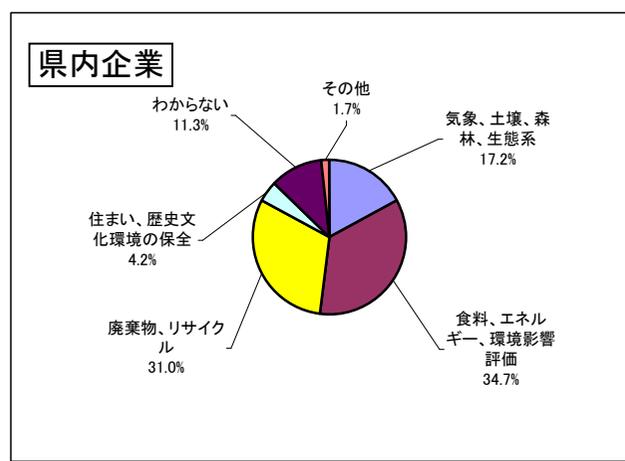
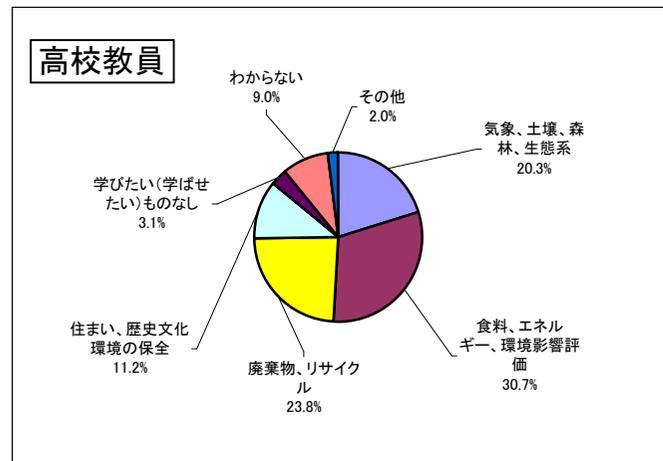
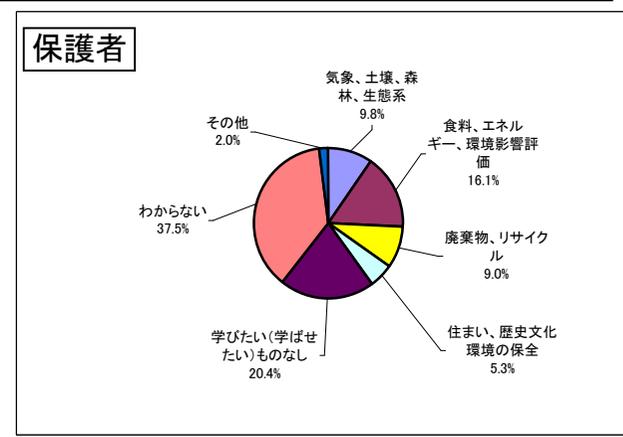
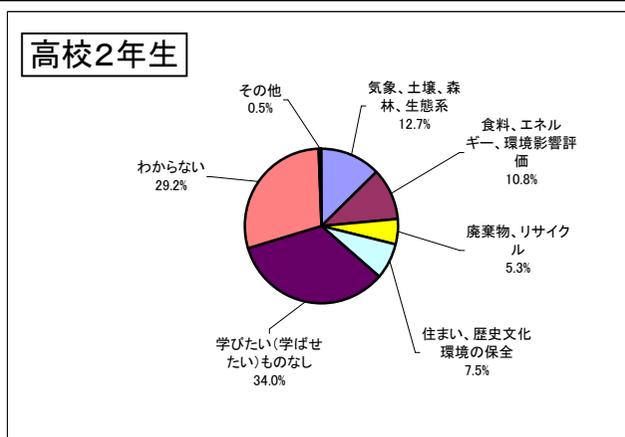
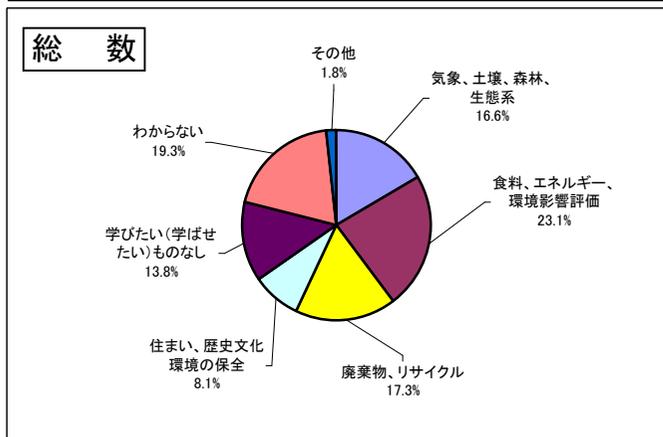
【設問内容】

鳥取環境大学では、現在、学部・学科の改編を検討をしています。このことを知っていますか。

①知っている ②知らない

22 期待される教育内容(環境学科)※複数回答可

◆「食料、エネルギー、環境影響評価などの分野」「廃棄物、リサイクルなどの分野」「気象、土壌、森林、生態系などの分野」が期待されている。



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
気象、土壌、森林、生態系	944	16.6%	194	12.7%	99	9.8%	383	20.3%	93	17.2%	175	24.8%
食料、エネルギー、環境影響評価	1,313	23.1%	165	10.8%	163	16.1%	580	30.7%	188	34.7%	217	30.8%
廃棄物、リサイクル	979	17.3%	80	5.3%	91	9.0%	451	23.8%	168	31.0%	189	26.8%
住まい、歴史文化環境の保全	462	8.1%	114	7.5%	54	5.3%	211	11.2%	23	4.2%	60	8.5%
学ばせたい(学ばせたい)ものなし	783	13.8%	517	34.0%	207	20.4%	59	3.1%				
わからない	1,093	19.3%	445	29.2%	381	37.5%	170	9.0%	61	11.3%	36	5.1%
その他	101	1.8%	7	0.5%	20	2.0%	37	2.0%	9	1.7%	28	4.0%
計	5,675	100.0%	1,522	100.0%	1,015	100.0%	1,891	100.0%	542	100.0%	705	100.0%

【設問内容】

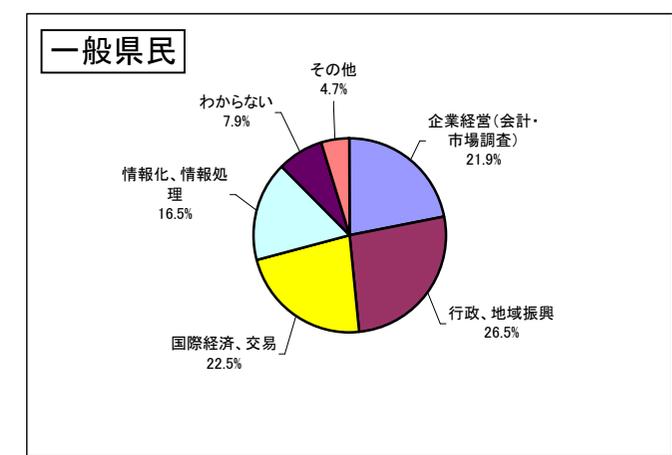
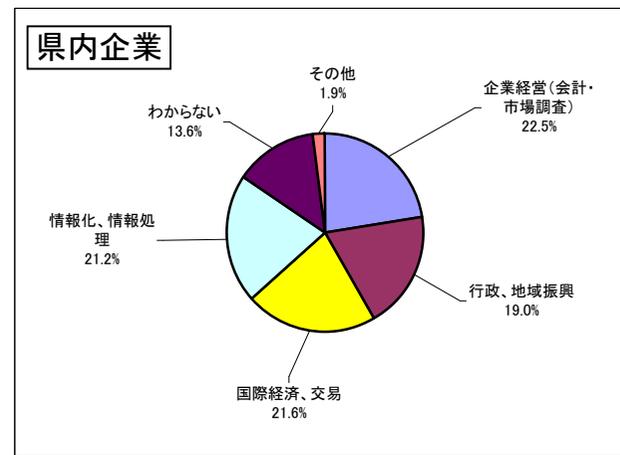
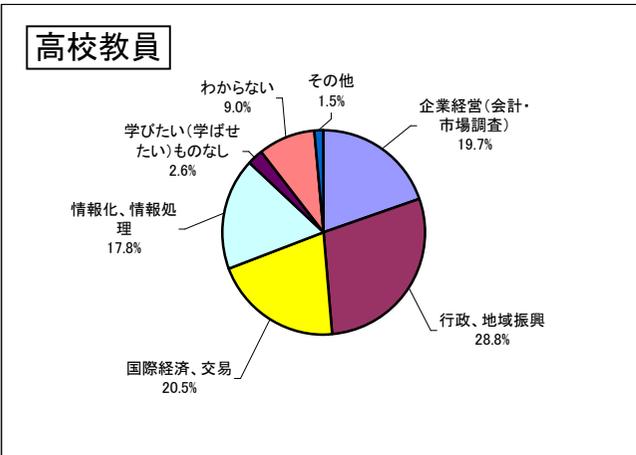
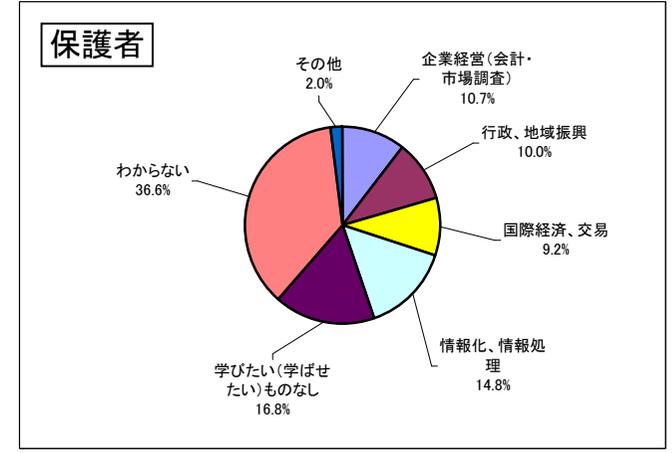
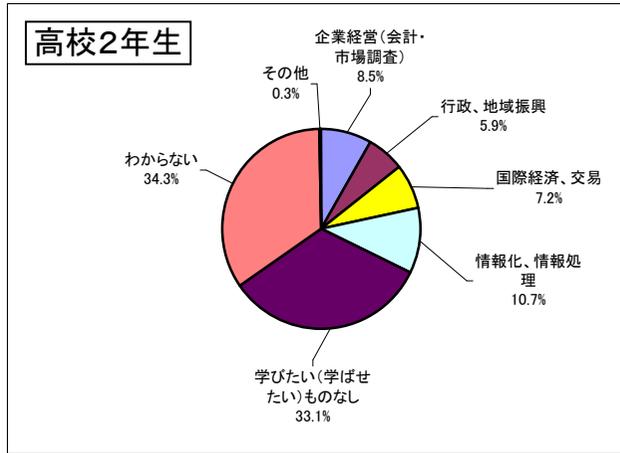
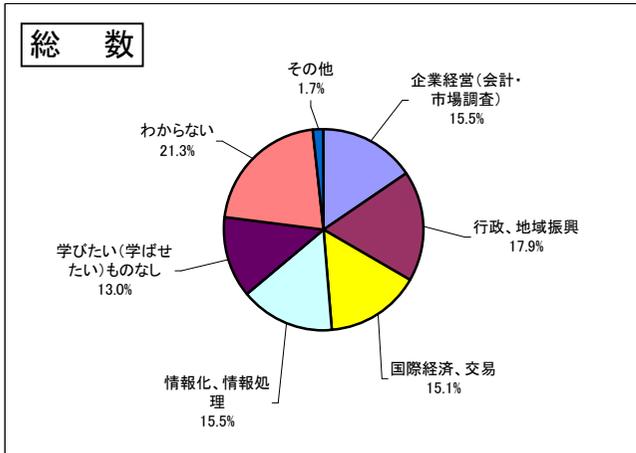
改革案で検討されている環境学科の教育内容の中で、何が学んでみたいですか。(保護者、高校教員は何を学ばせたいか、企業、県民は何に期待するか)

- ①気象、土壌、森林、生態系などの分野
- ②食料、エネルギー、環境影響評価などの分野
- ③廃棄物、リサイクルなどの分野
- ④住まい、歴史文化環境の保全などの分野
- ⑤学んでみたいものはない ⑥わからない ⑦その他()

※⑤は、高校2年生、保護者、高校教員のための設問

23 期待される教育内容(経営学科)※複数回答可

◆「会計、市場調査などの企業経営」「行政、地域振興」「国際経済、北東アジアとの交易」「情報化、情報処理」のいずれの分野も同程度に期待されている。

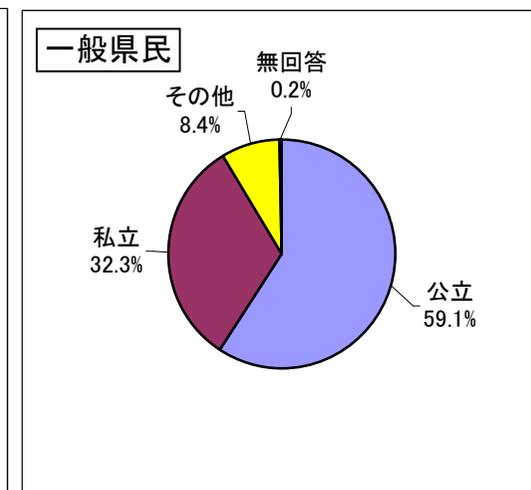
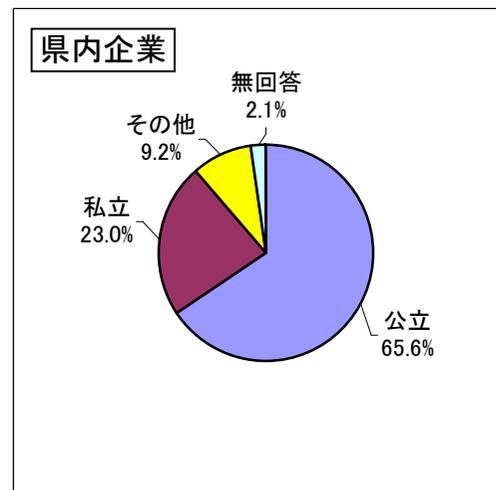
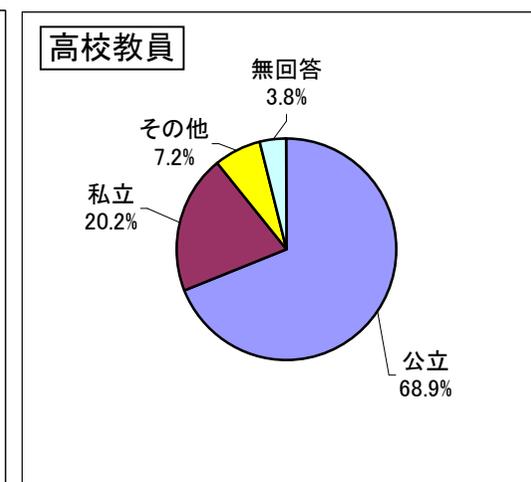
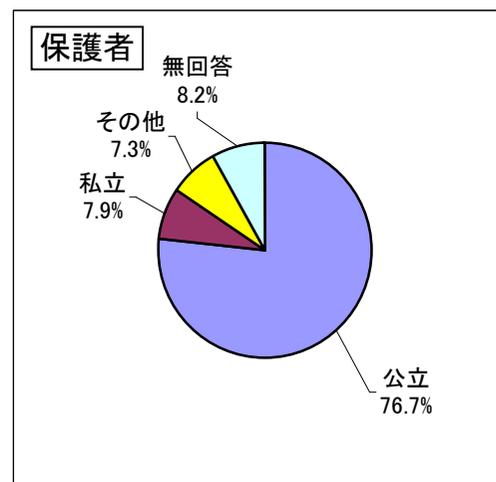
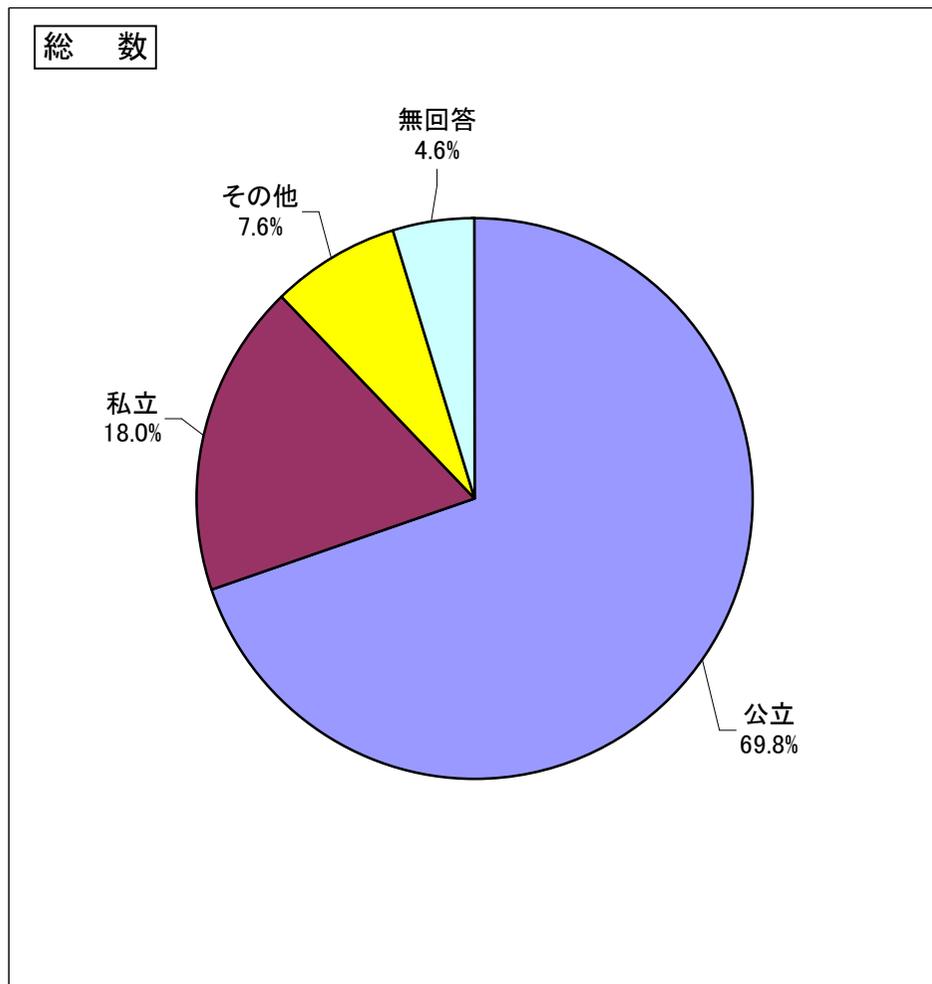


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
企業経営(会計・市場調査)	827	15.5%	123	8.5%	107	10.7%	354	19.7%	104	22.5%	139	21.9%
行政、地域振興	958	17.9%	86	5.9%	100	10.0%	516	28.8%	88	19.0%	168	26.5%
国際経済、交易	807	15.1%	104	7.2%	92	9.2%	368	20.5%	100	21.6%	143	22.5%
情報化、情報処理	826	15.5%	155	10.7%	148	14.8%	320	17.8%	98	21.2%	105	16.5%
学びたい(学ばせたい)ものなし	696	13.0%	481	33.1%	168	16.8%	47	2.6%				
わからない	1,139	21.3%	499	34.3%	366	36.6%	161	9.0%	63	13.6%	50	7.9%
その他	91	1.7%	5	0.3%	20	2.0%	27	1.5%	9	1.9%	30	4.7%
計	5,344	100.0%	1,453	100.0%	1,001	100.0%	1,793	100.0%	462	100.0%	635	100.0%

【設問内容】
 改革案で検討されている経営学科の教育内容の中で、何が学んでみたいですか。(保護者、高校教員は何を学ばせたいか、企業、県民は何に期待するか)
 ①会計、市場調査などの企業経営の分野
 ②行政、地域振興などの分野
 ③国際経済、北東アジアとの交易などの分野
 ④情報化、情報処理などの分野
 ⑤学んでみたいものはない ⑥わからない ⑦その他()
 ※⑤は、高校2年生、保護者、高校教員のための設問

24 望ましい設置形態

◆約7割が「公立化」を望んでいる。



区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
公立	1,971	69.8%	740	76.7%	779	68.9%	214	65.6%	238	59.1%
私立	509	18.0%	76	7.9%	228	20.2%	75	23.0%	130	32.3%
その他	215	7.6%	70	7.3%	81	7.2%	30	9.2%	34	8.4%
無回答	130	4.6%	79	8.2%	43	3.8%	7	2.1%	1	0.2%
計	2,825	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

【設問内容】

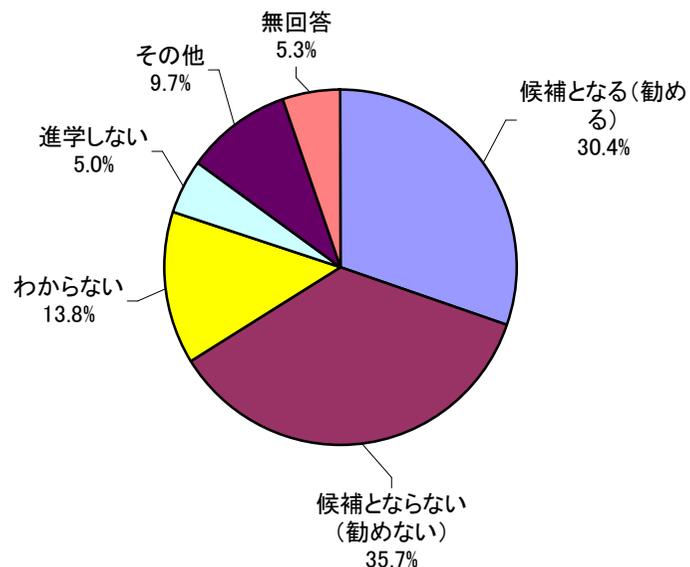
鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。

①公立 ②私立 ③その他()

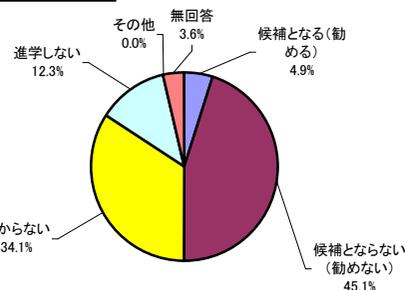
25 公立化された場合における進学候補対象となる可能性

◆公立化されることにより、現在と比較し、進学先の候補となる(勧めたい)割合が増加している。
特に、高校教員は、約7割が進学先の候補として「勧めたい」としている。

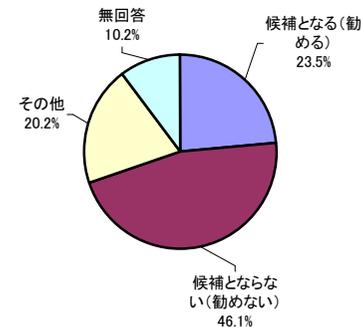
総数



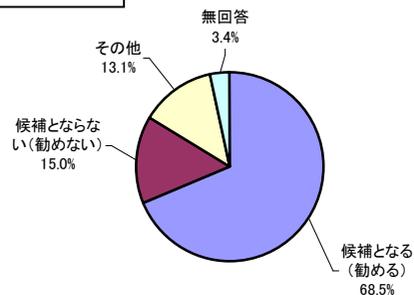
高校2年生



保護者



高校教員



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
候補となる(勧めめる)	1,072	30.4%	70	4.9%	227	23.5%	775	68.5%
候補とならない(勧めない)	1,262	35.7%	647	45.1%	445	46.1%	170	15.0%
わからない	489	13.8%	489	34.1%				
進学しない	177	5.0%	177	12.3%				
その他	343	9.7%			195	20.2%	148	13.1%
無回答	188	5.3%	52	3.6%	98	10.2%	38	3.4%
計	3,531	100.0%	1,435	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%

【設問内容】

鳥取環境大学が、仮に公立大学となった場合、進学先の候補になりますか。

(保護者、高校教員の場合は、進学先として勧めたいと思うか)

①候補になる(勧めたい) ②候補にならない(勧めたいと思わない)

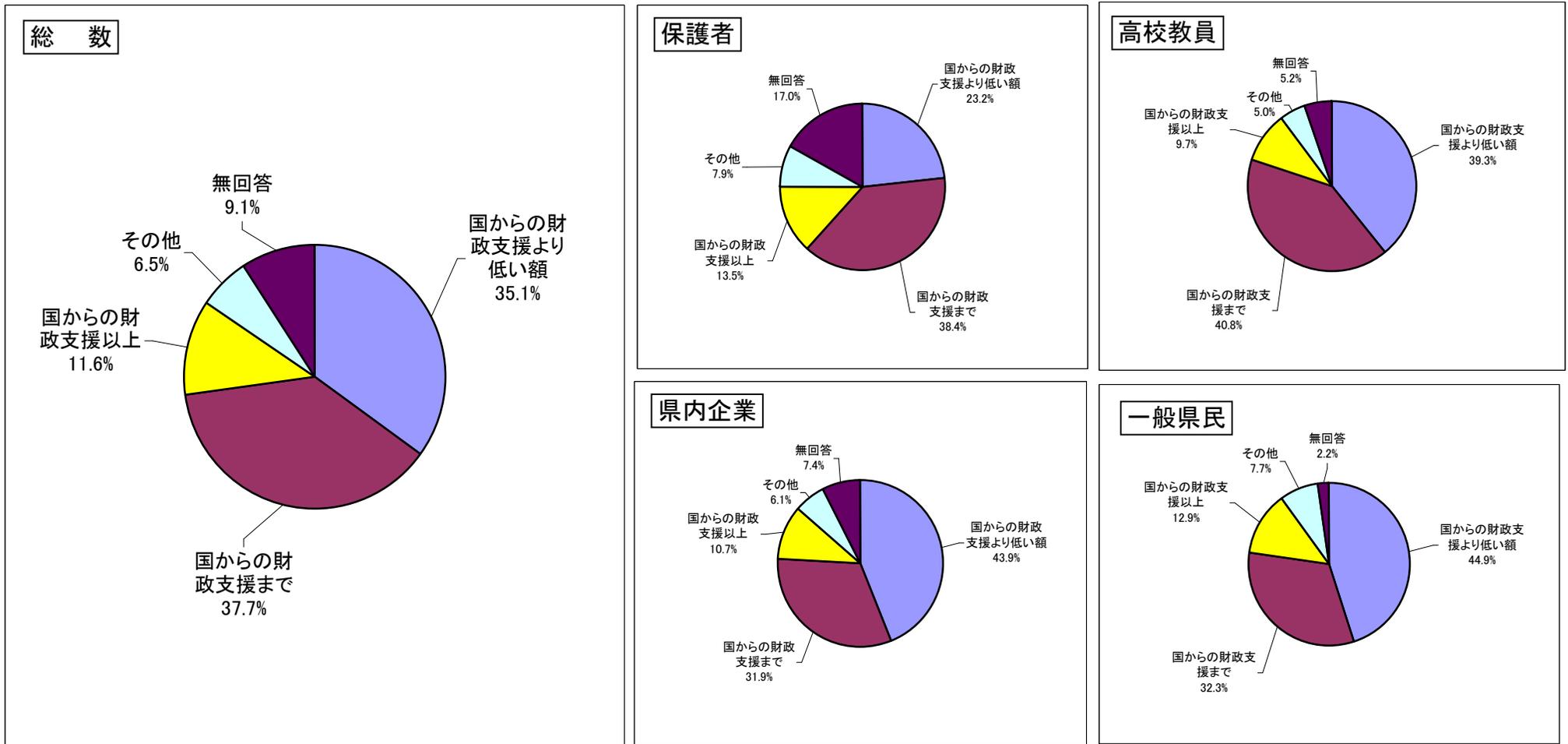
③わからない ④大学に進学しない ⑤その他()

※③、④は高校2年生のみの設問

※⑤は、保護者、高校教員のみ設問

26 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲

◆73%が「国からの財政支援の範囲」であれば許容できるとしているが、県内企業、一般県民では、「国からの財政支援より低い額」とする割合が高い。



区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
国からの財政支援より低い額	992	35.1%	224	23.2%	444	39.3%	143	43.9%	181	44.9%
国からの財政支援まで	1,066	37.7%	371	38.4%	461	40.8%	104	31.9%	130	32.3%
国からの財政支援以上	327	11.6%	130	13.5%	110	9.7%	35	10.7%	52	12.9%
その他	184	6.5%	76	7.9%	57	5.0%	20	6.1%	31	7.7%
無回答	256	9.1%	164	17.0%	59	5.2%	24	7.4%	9	2.2%
計	2,825	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

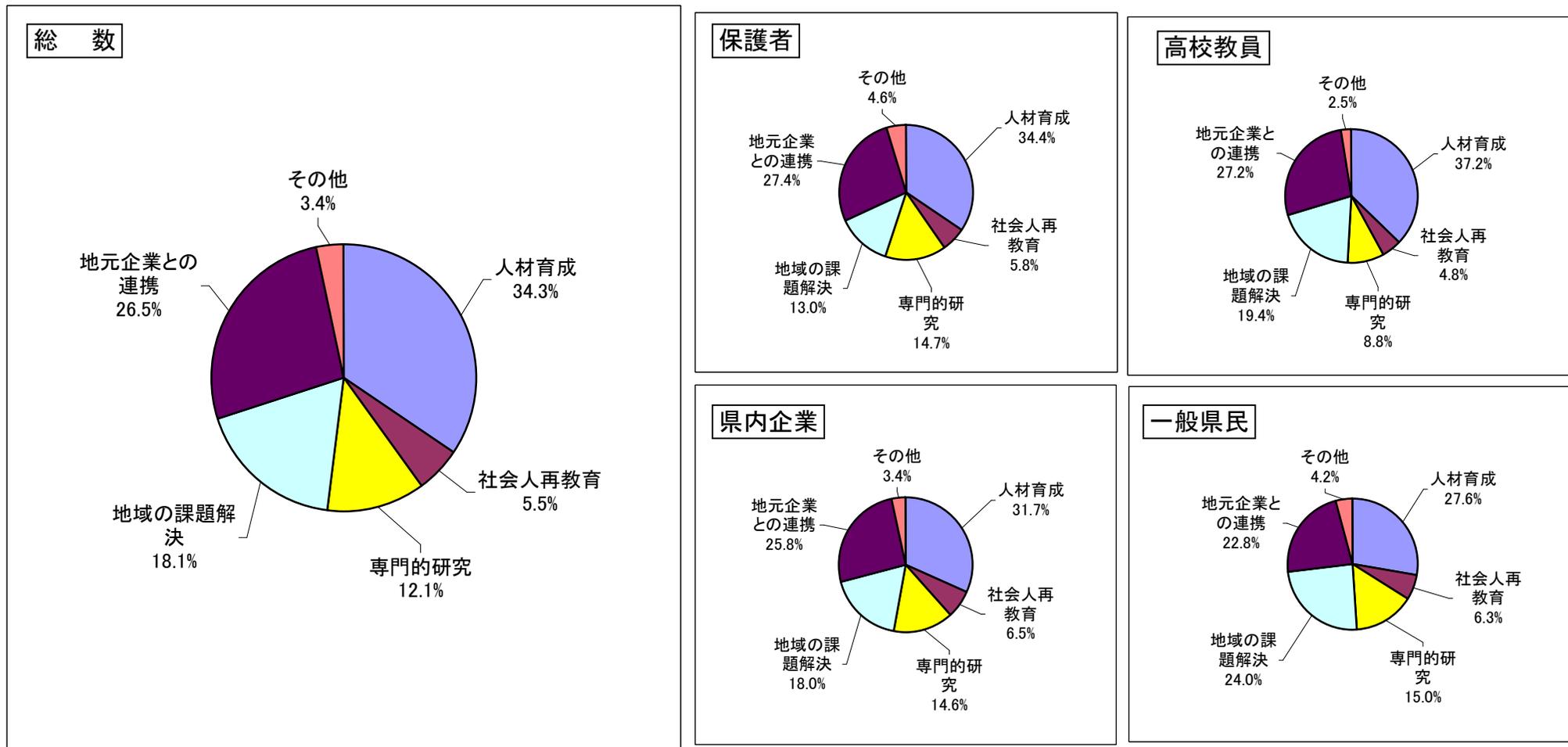
【設問内容】

仮に公立大学にする場合などの程度の県・鳥取市の財政負担まで許されると思いますか。

- ①財政支援は、大学の自助努力により、国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき
- ②国からの財政支援額までは、大学に対する財政支援を認めてよい
- ③国からの財政支援額を超えてでも、大学を支援すべき
- ④その他()

27 期待される地域貢献

◆「人材育成」「地元企業と連携した研究」「地域の課題解決につながる研究」が期待されている。



区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
人材育成	1,236	34.3%	350	34.4%	601	37.2%	141	31.7%	144	27.6%
社会人再教育	199	5.5%	59	5.8%	78	4.8%	29	6.5%	33	6.3%
専門的研究	436	12.1%	150	14.7%	143	8.8%	65	14.6%	78	15.0%
地域の課題解決	651	18.1%	132	13.0%	314	19.4%	80	18.0%	125	24.0%
地元企業との連携	953	26.5%	279	27.4%	440	27.2%	115	25.8%	119	22.8%
その他	124	3.4%	47	4.6%	40	2.5%	15	3.4%	22	4.2%
計	3,599	100.0%	1,017	100.0%	1,616	100.0%	445	100.0%	521	100.0%

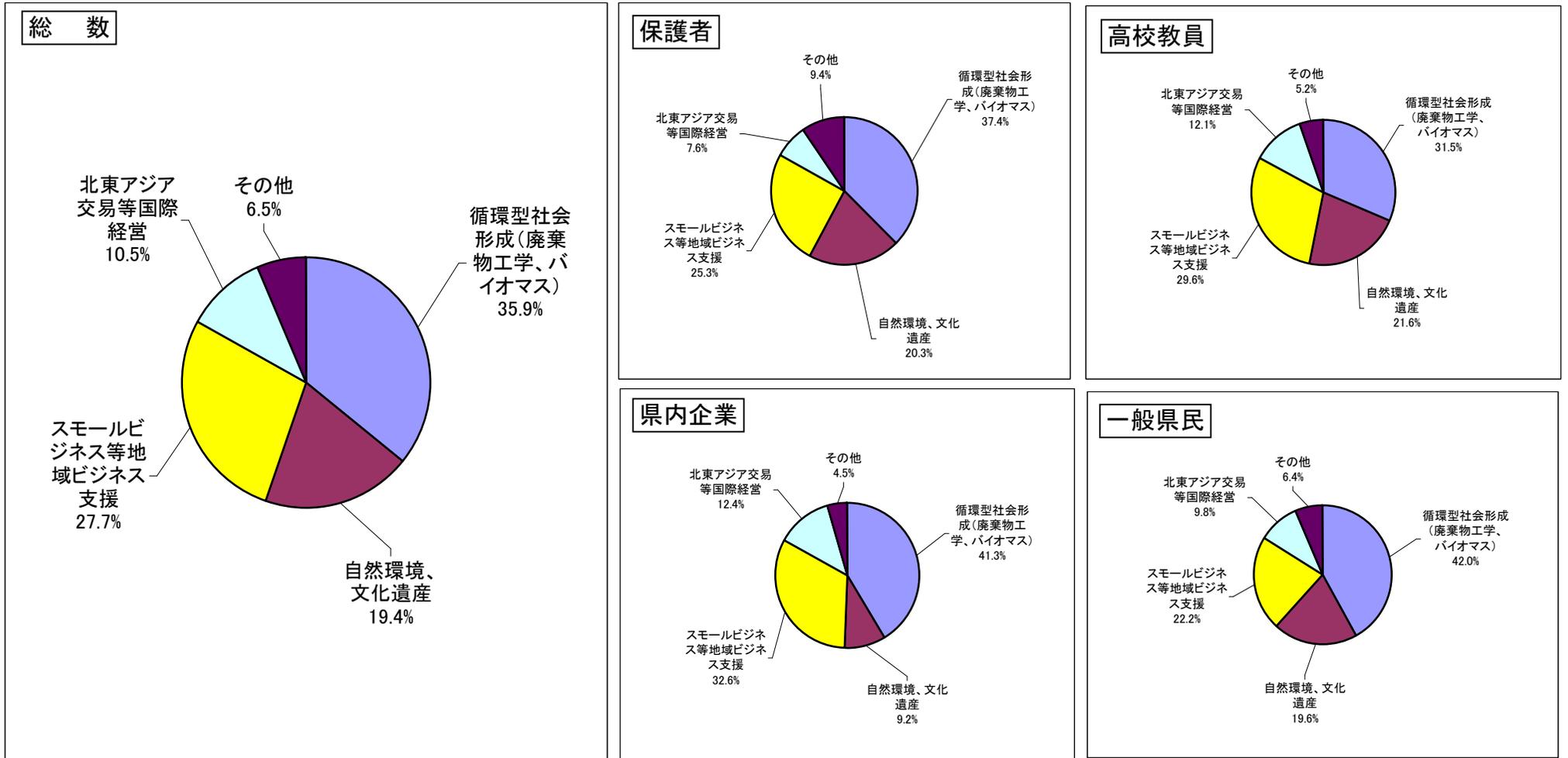
【設問内容】

鳥取環境大学の地域貢献について、大学に何を期待しますか。

- ①人材育成 ②社会人の再教育 ③専門的研究
 ④地域の課題解決につながる研究 ⑤地元企業と連携した研究
 ⑥その他()

28 取り上げてほしい研究テーマ

◆「循環型社会形成に係る研究(廃棄物工学、バイオマス等)」「地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援」「鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究」を取り上げてほしいとしている。

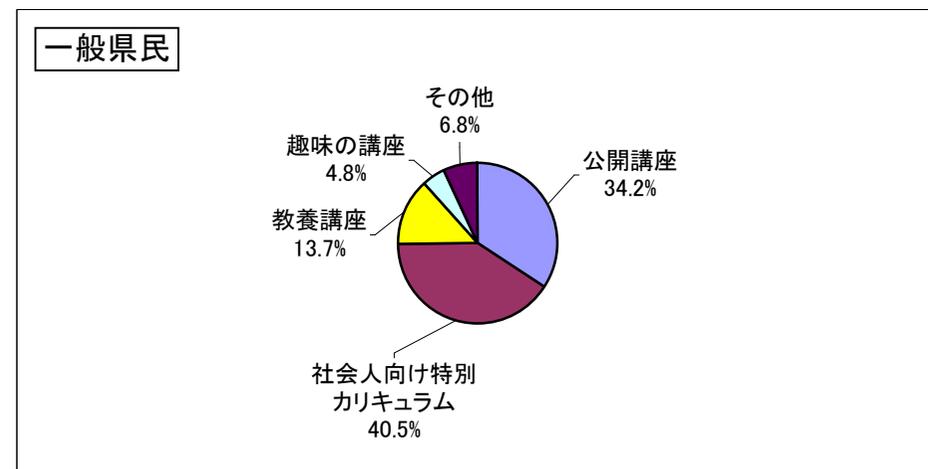
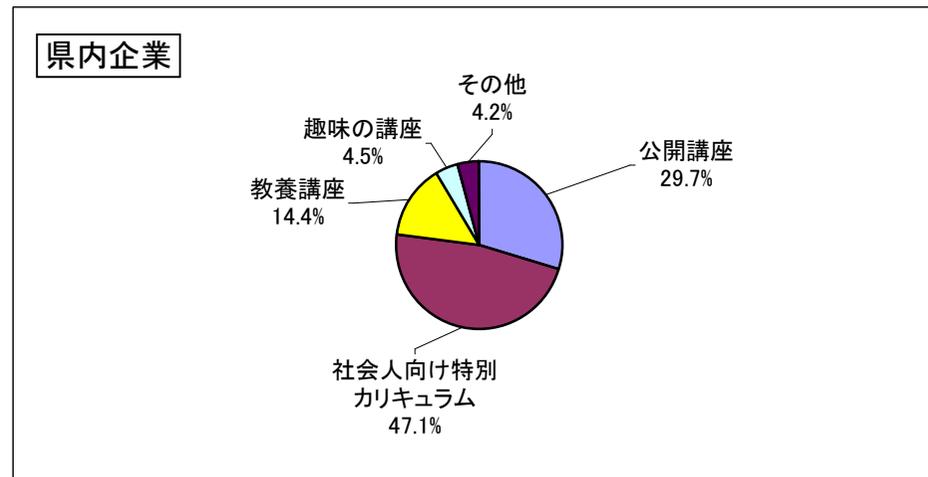
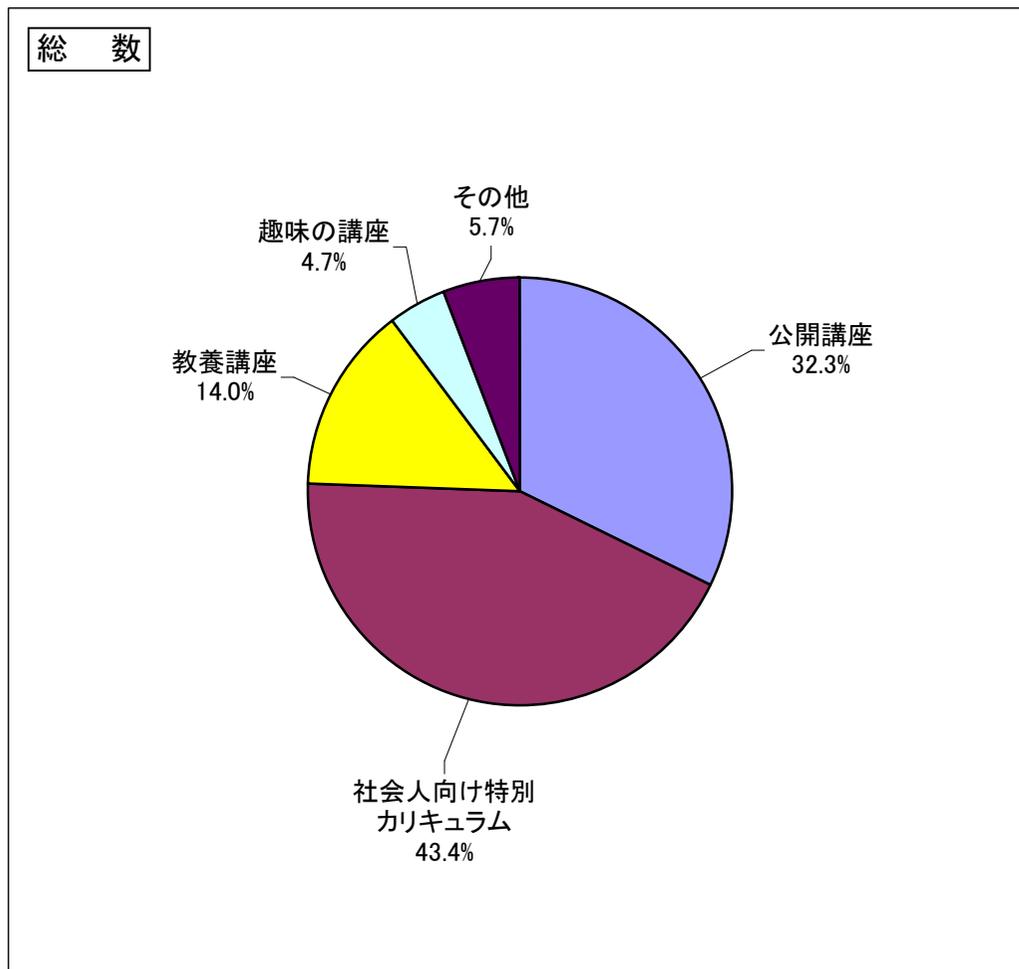


区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
循環型社会形成(廃棄物工学、バイオマス)	1,114	35.9%	325	37.4%	435	31.5%	157	41.3%	197	42.0%
自然環境、文化遺産	601	19.4%	176	20.3%	298	21.6%	35	9.2%	92	19.6%
スモールビジネス等地域ビジネス支援	857	27.7%	220	25.3%	409	29.6%	124	32.6%	104	22.2%
北東アジア交易等国際経営	326	10.5%	66	7.6%	167	12.1%	47	12.4%	46	9.8%
その他	201	6.5%	82	9.4%	72	5.2%	17	4.5%	30	6.4%
計	3,099	100.0%	869	100.0%	1,381	100.0%	380	100.0%	469	100.0%

【設問内容】
鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。
①廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
②鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
③地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
④北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
⑤その他()

29 期待される社会人教育

◆「社会人向け特別カリキュラム」と「公開講座」が期待されている。



区分	総数		県内企業		一般県民	
	人数	割合	件数	割合(%)	人数	割合(%)
公開講座	249	32.3%	99	29.7%	150	34.2%
社会人向け特別カリキュラム	335	43.4%	157	47.1%	178	40.5%
教養講座	108	14.0%	48	14.4%	60	13.7%
趣味の講座	36	4.7%	15	4.5%	21	4.8%
その他	44	5.7%	14	4.2%	30	6.8%
計	772	100.0%	333	100.0%	439	100.0%

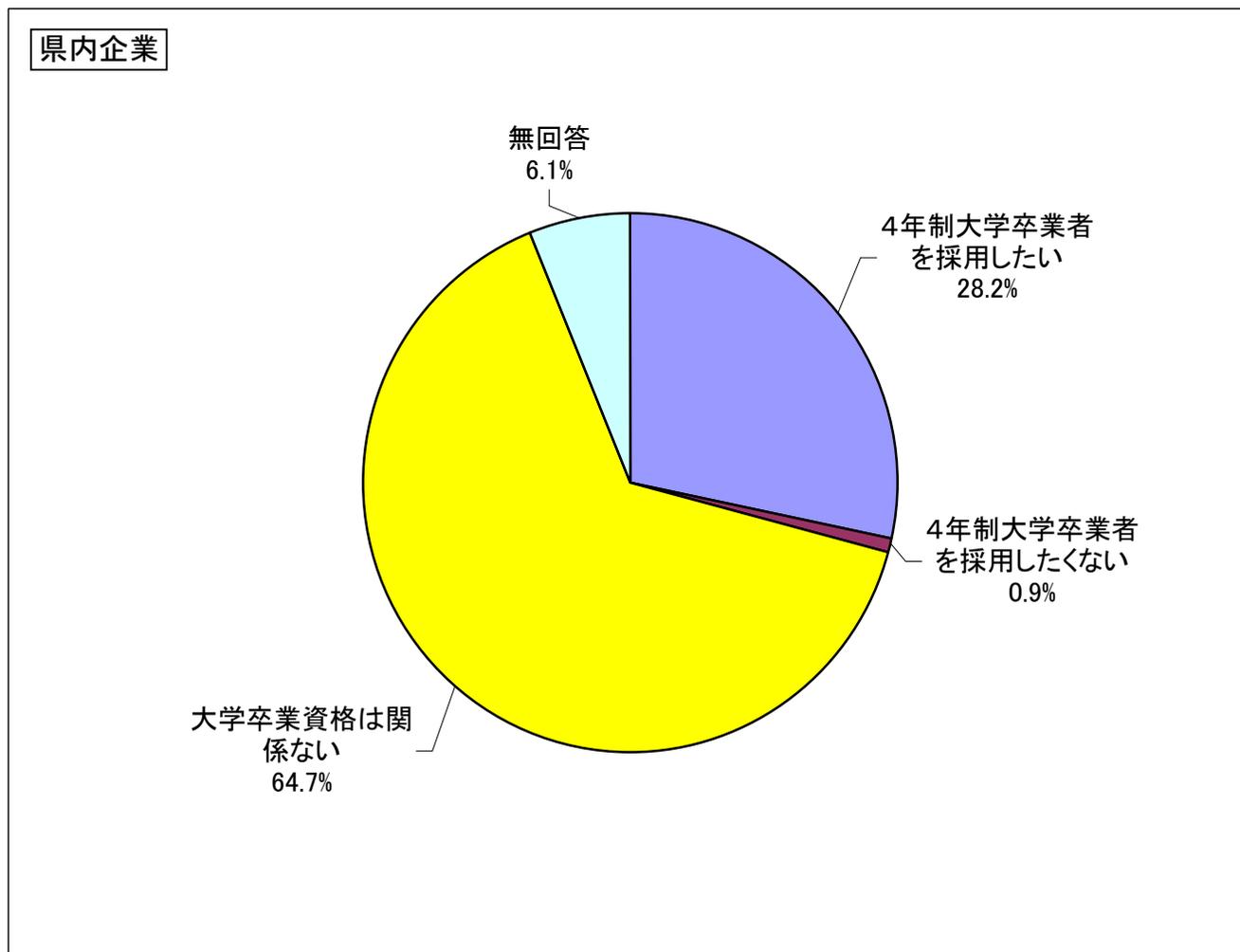
【設問内容】

大学が行う社会人教育に、どのようなものを期待しますか。

- ①公開講座 ②社会人向けの特別カリキュラム
③教養講座 ④趣味の講座 ⑤その他()

30 従業員採用に当たっての大学卒業資格

◆65%の企業が、「大学卒業資格は関係ない」としている。



区分	県内企業	
	人数	割合(%)
4年制大学卒業者を採用したい	92	28.2%
4年制大学卒業者を採用したくない	3	0.9%
大学卒業資格は関係ない	211	64.7%
無回答	20	6.1%
計	326	100.0%

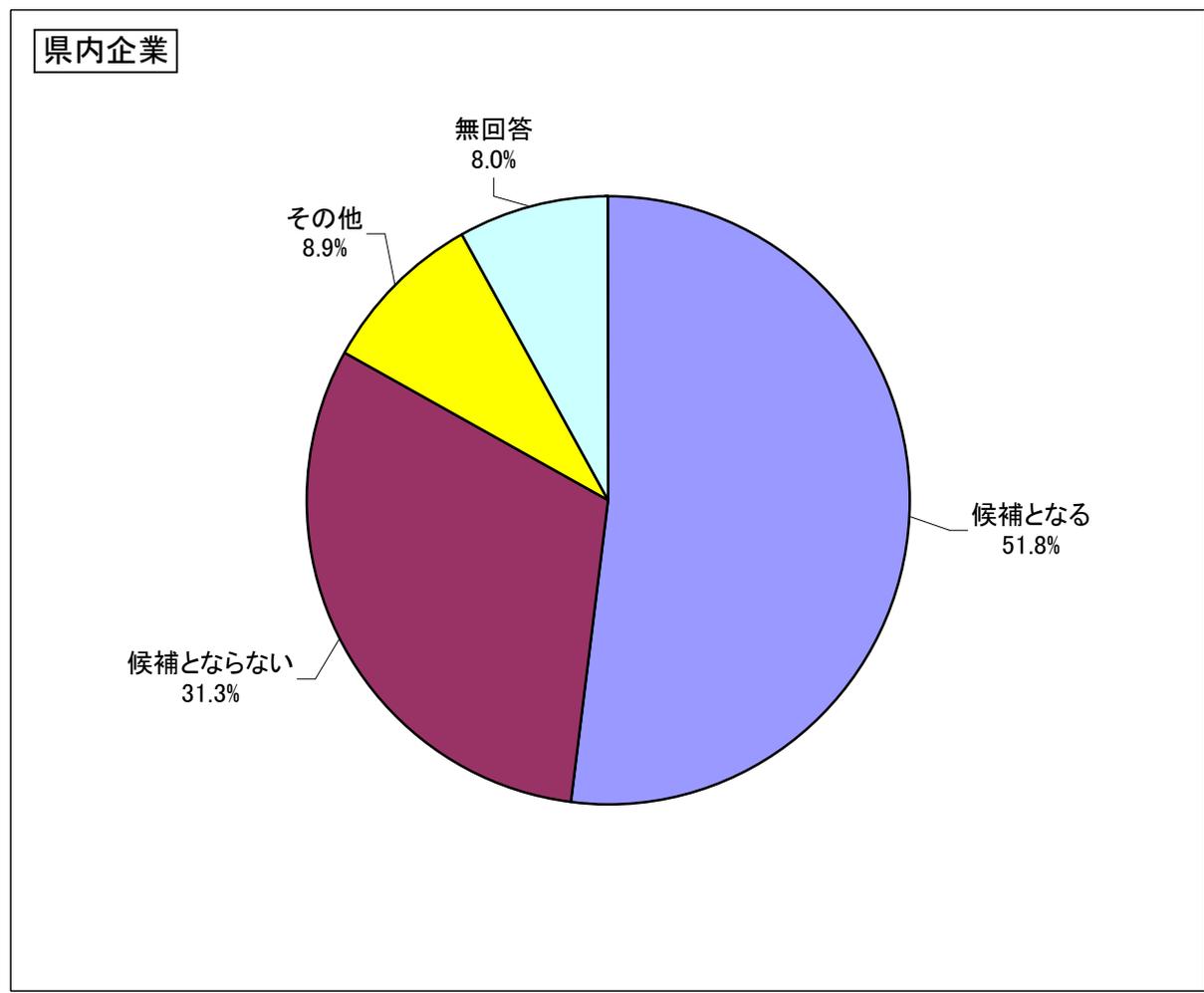
【設問内容】

従業員を採用するにあたって、大学卒業資格をどのようにお考えですか。

- ①4年制大学卒業者を採用したい
- ②4年制大学卒業者を採用したくない
- ③大学卒業資格は関係ない

31 採用の候補となる学生（経営学を履修し、企業経営に関心がある学生）

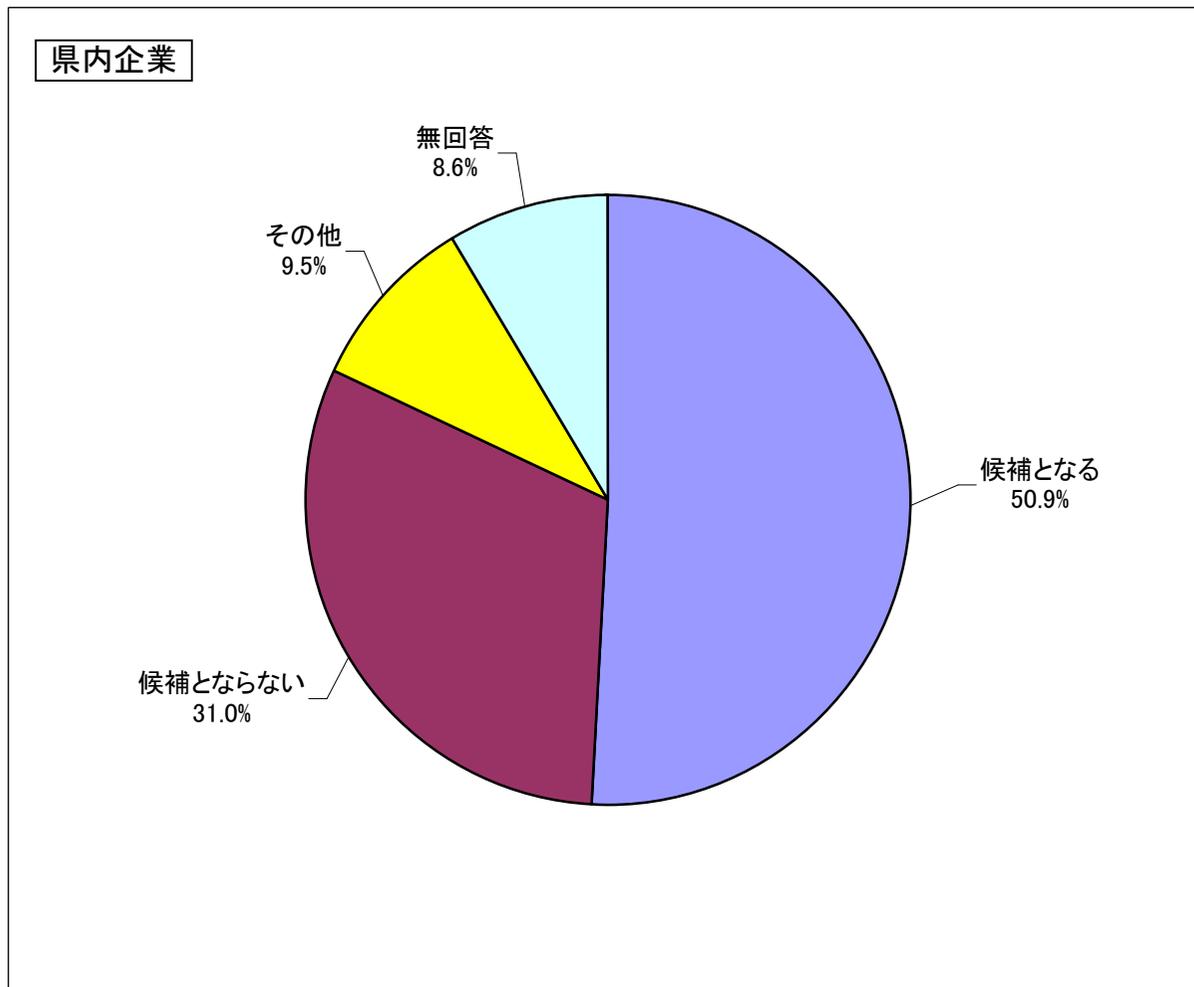
◆半数の企業が、経営学を履修した学生は採用の候補となるとしている。



【設問内容】
 経営学を履修し、企業経営に関心がある学生は、採用の候補となりますか。
 （人柄には、問題がない前提）
 ①候補となる ②候補とならない ③その他（ ）

32 採用の候補となる学生（環境学を履修し、環境マインドがある学生）

◆半数の企業が、環境学を履修した学生は採用の候補となるとしている。



区分	県内企業	
	人数	割合(%)
候補となる	166	50.9%
候補とならない	101	31.0%
その他	31	9.5%
無回答	28	8.6%
計	326	100.0%

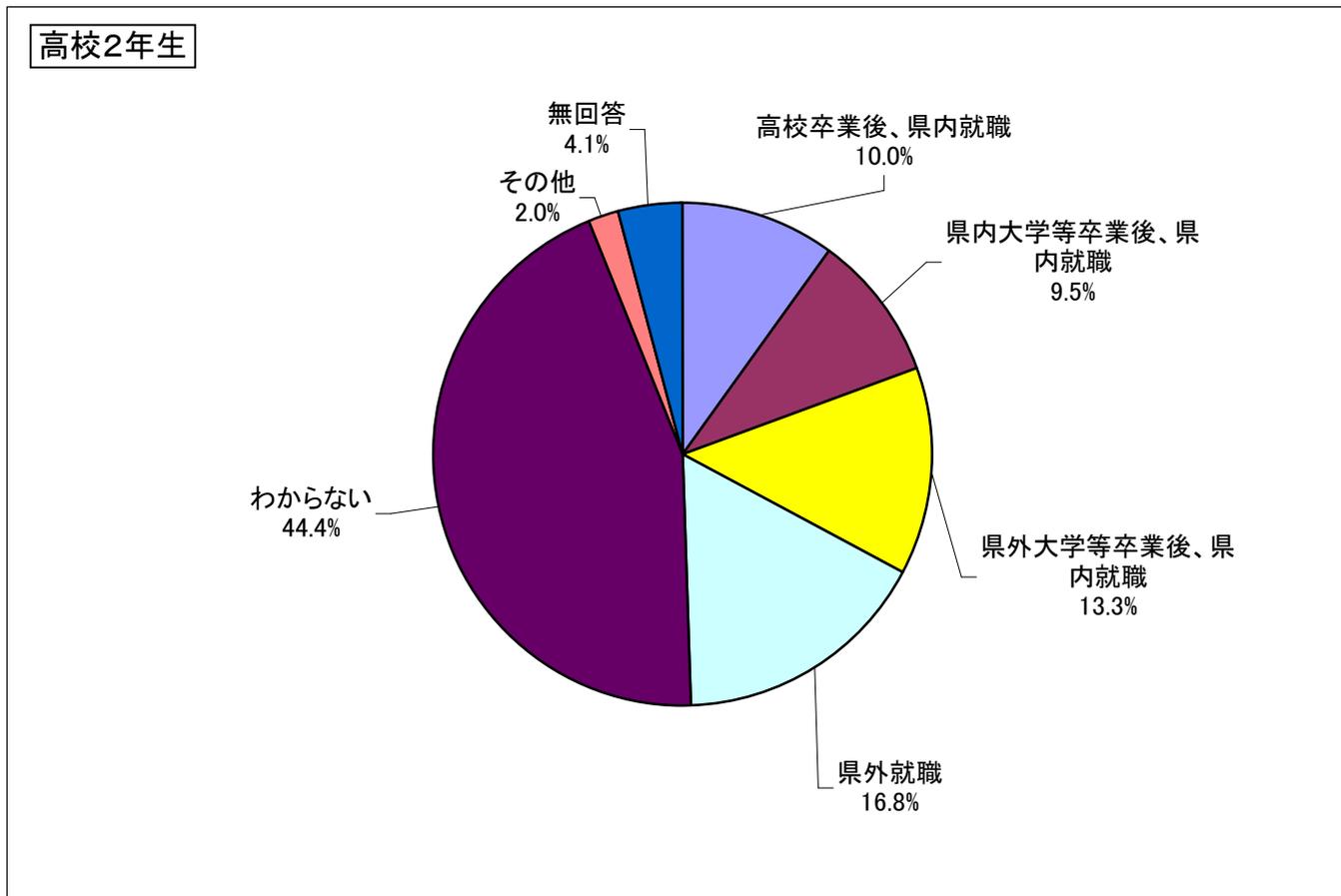
【設問内容】

環境学を履修し、環境マインドがある学生は、採用の候補となりますか。
（人柄には、問題がない前提）

①候補となる ②候補とならない ③その他()

33 就職に関する希望

◆県外就職希望者の約2倍の生徒が県内就職を希望している。



区分	高校2年生	
	人数	割合(%)
高校卒業後、県内就職	143	10.0%
県内大学等卒業後、県内就職	136	9.5%
県外大学等卒業後、県内就職	191	13.3%
県外就職	241	16.8%
わからない	637	44.4%
その他	28	2.0%
無回答	59	4.1%
計	1,435	100.0%

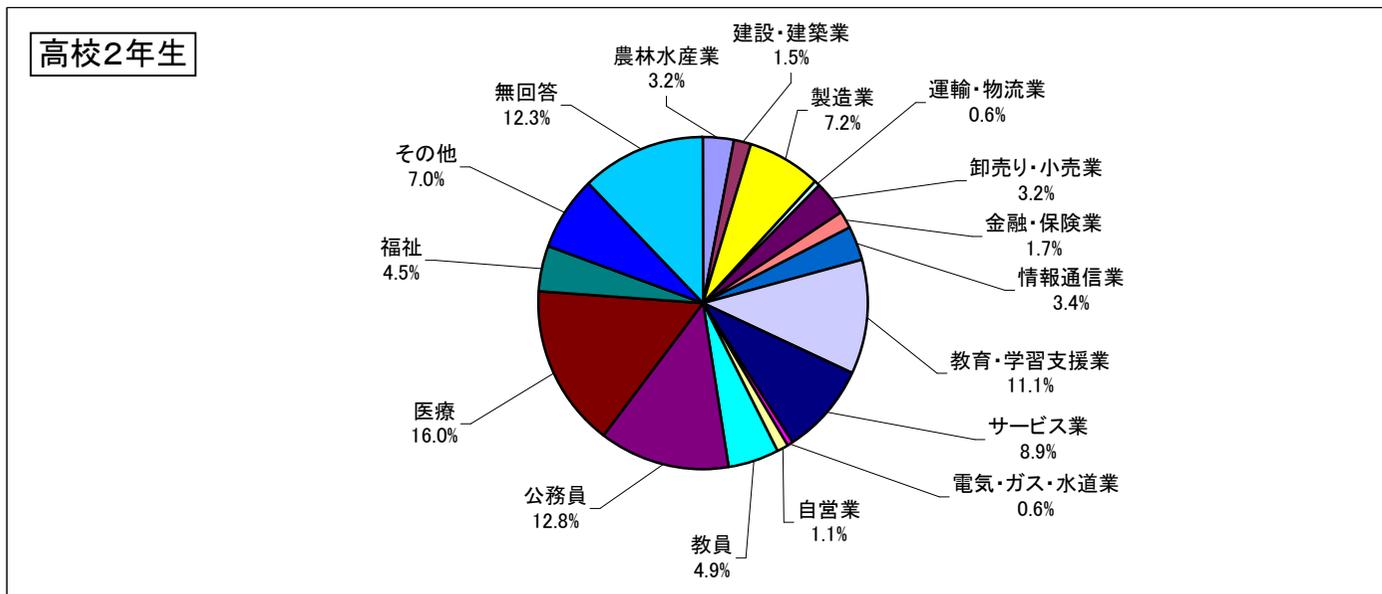
【設問内容】

鳥取県内に就職したいと思いませんか。

- ①高校卒業後、すぐに県内に就職したい
- ②県内の大学等を卒業後に県内に就職したい
- ③県外の大学等を卒業後に県内に就職したい
- ④鳥取県内には就職したくない
- ⑤わからない
- ⑥その他()

34 県内就職する際の希望分野

◆「医療」「公務員」「教育・学習支援」「サービス業」の分野へ就職したいとしている。



区分	高校2年生	
	人数	割合 (%)
農林水産業	15	3.2%
建設・建築業	7	1.5%
製造業	34	7.2%
運輸・物流業	3	0.6%
卸売り・小売業	15	3.2%
金融・保険業	8	1.7%
情報通信業	16	3.4%
教育・学習支援業	52	11.1%
サービス業	42	8.9%
電気・ガス・水道業	3	0.6%
自営業	5	1.1%
教員	23	4.9%
公務員	60	12.8%
医療	75	16.0%
福祉	21	4.5%
その他	33	7.0%
無回答	58	12.3%
計	470	100.0%

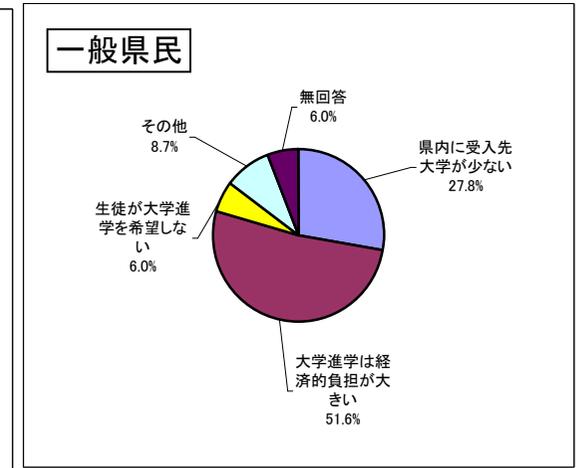
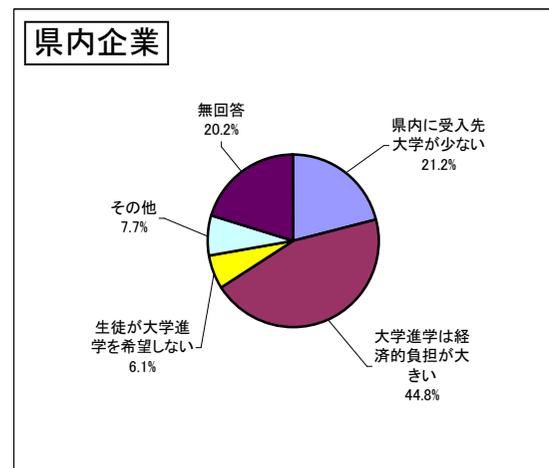
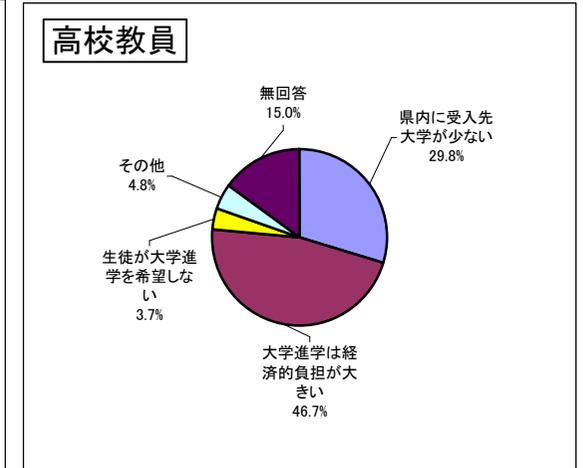
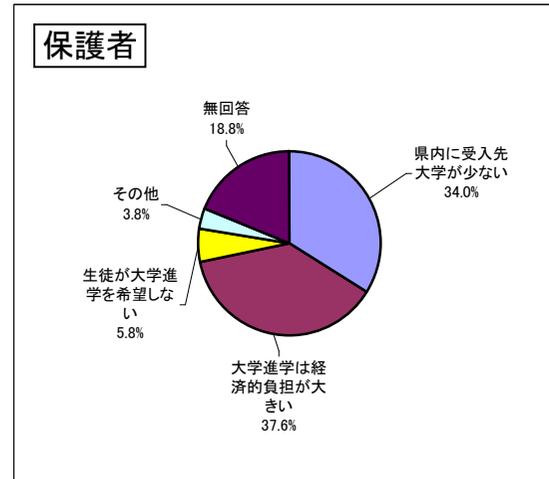
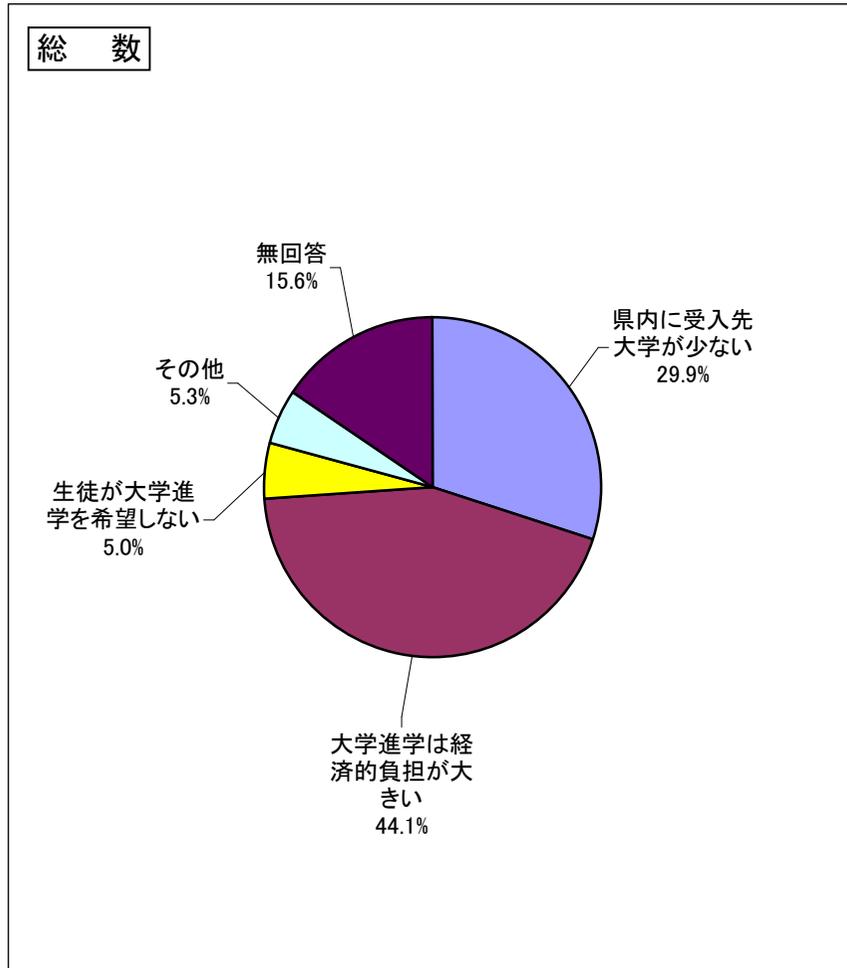
【設問内容】

県内に就職したいと答えた方は、どのような分野に就職したいですか。

- ①農林水産業
- ②建設・建築業
- ③製造業
- ④運輸・物流業
- ⑤卸売り・小売業
- ⑥金融・保険業
- ⑦情報通信業
- ⑧教育・学習支援業
- ⑨サービス業
- ⑩電気・ガス・水道業
- ⑪自営業
- ⑫教員
- ⑬公務員
- ⑭医療
- ⑮福祉
- ⑯その他()

35 大学進学率が低い原因

◆「経済的な負担が大きい」「県内に受け入れ先となる大学が少ない」ことが原因と考えられている。

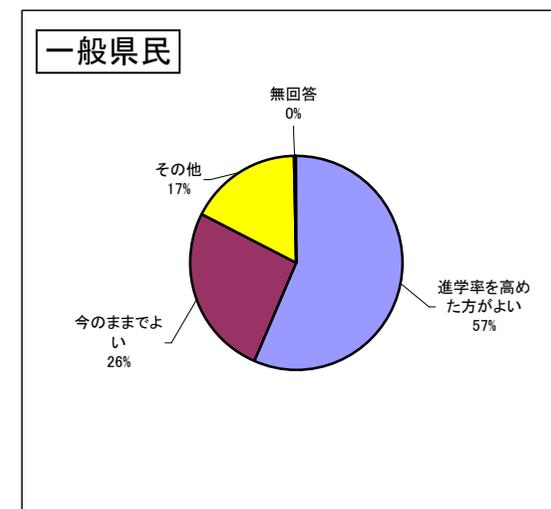
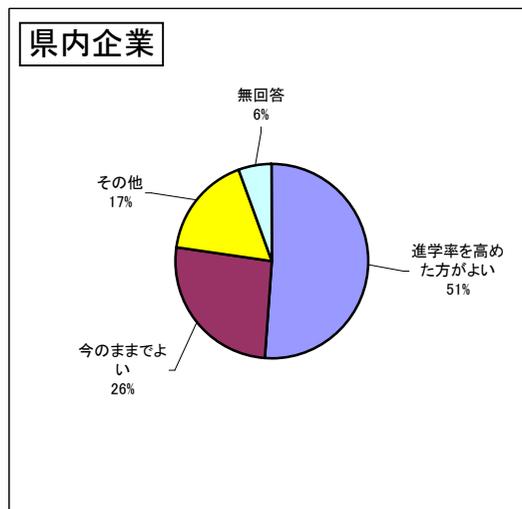
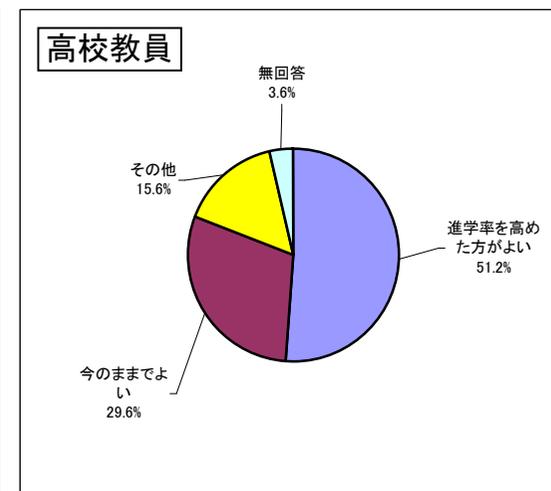
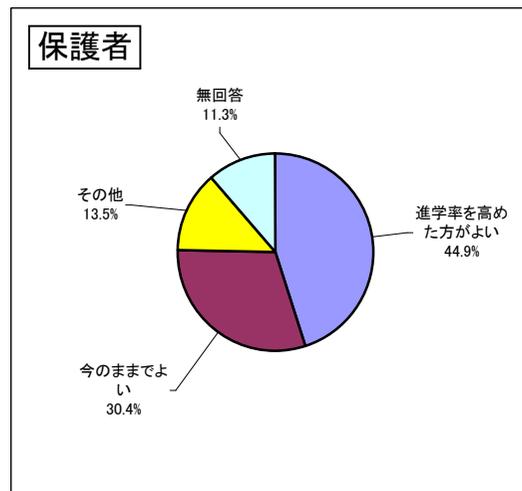
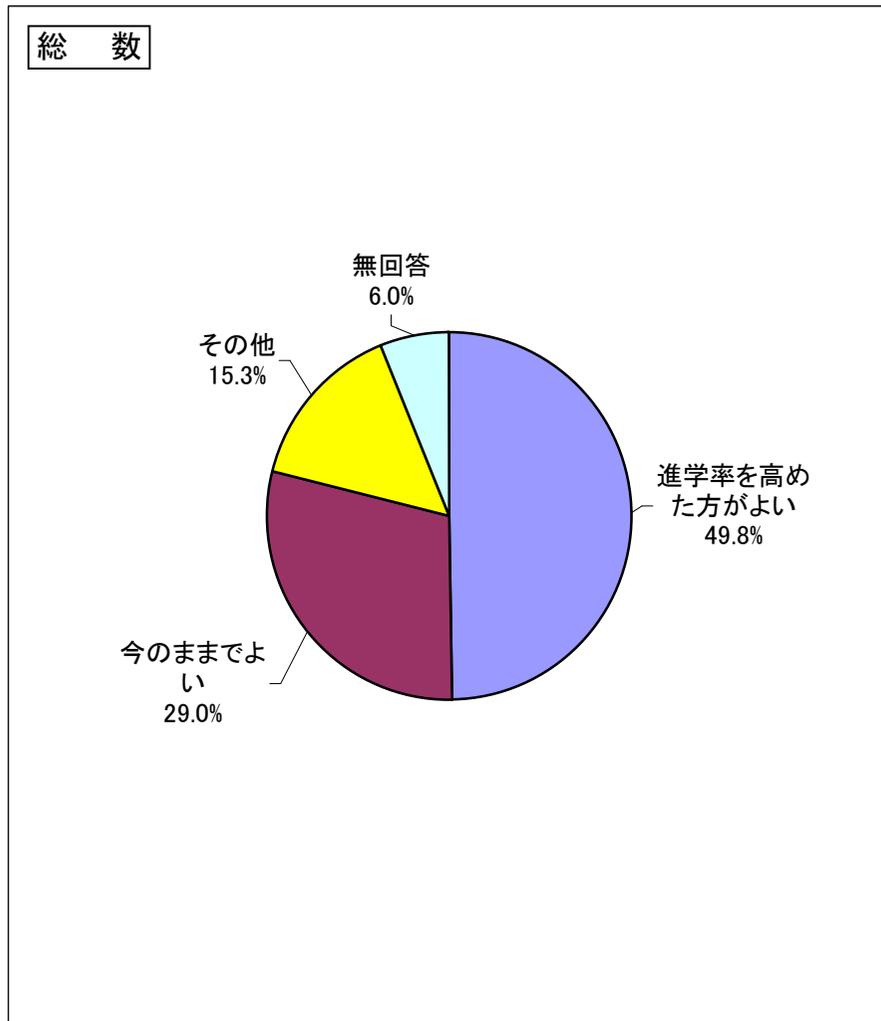


区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
県内に受入先大学が少ない	846	29.9%	328	34.0%	337	29.8%	69	21.2%	112	27.8%
大学進学は経済的負担が大きい	1,245	44.1%	363	37.6%	528	46.7%	146	44.8%	208	51.6%
生徒が大学進学を希望しない	142	5.0%	56	5.8%	42	3.7%	20	6.1%	24	6.0%
その他	151	5.3%	37	3.8%	54	4.8%	25	7.7%	35	8.7%
無回答	441	15.6%	181	18.8%	170	15.0%	66	20.2%	24	6.0%
計	2,825	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

【設問内容】
 鳥取県の大学進学率は、43.6%で全国平均の53.9%と比べると低い状況ですが、この原因はどこにあると思いますか。
 ①県内に受け入れ先となる大学が少ない
 ②大学進学は経済的負担が大きい
 ③生徒が大学進学を希望しない ④その他

36 本県の大学進学率(43.6%)についての所感

◆約半数が、「進学率を高めた方がよい」としている。



区分	総数		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
進学率を高めた方がよい	1,406	49.8%	433	44.9%	579	51.2%	167	51.2%	227	56.3%
今のままでよい	819	29.0%	293	30.4%	335	29.6%	85	26.1%	106	26.3%
その他	431	15.3%	130	13.5%	176	15.6%	56	17.2%	69	17.1%
無回答	169	6.0%	109	11.3%	41	3.6%	18	5.5%	1	0.2%
計	2,825	100.0%	965	100.0%	1,131	100.0%	326	100.0%	403	100.0%

【設問内容】

鳥取県の大学進学率(43.6%)について
どう思いますか。

- ①進学率を高めた方がよい
- ②今のままでよい
- ③その他()